





**Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G
電話ガイド for Cisco Unified
Communications Manager 7.0**

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

電話機の一般的なタスク

コールを保留 / 復帰する	[保留] または [復帰] を押しします。
別の番号にコールを転送する	[オプション] > [転送] を選択し、転送先の電話番号を入力してから、[オプション] > [転送] をもう一度選択します。
番号をリダイヤルする	 を 2 回押すか、 [オプション] > [リダイヤル] を選択します。
標準の会議コールを開始する	[オプション] > [会議] を選択します。番号をダイヤルしてから、[オプション] > [会議] をもう一度選択します。上の手順を各通話者に繰り返します。
内線を転送する	[オプション] > [不在] を選択します。すべてのコールを転送する相手の番号を入力します。キャンセルするには、[オプション] > [不在] を選択します。
履歴を使用する	[ディレクトリ] (本) > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。ダイヤルするには、リストをスクロールし、[ダイヤル] または  を押しします。
デスクの電話機と無線電話機間で共有回線のコールを切り替える	アクティブコールに接続している電話機から、[保留] を押しします。別の電話機から、共有回線のコールを選択し、[復帰] を押してコールを取得します。



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-16131-01-J







クイック リファレンス









Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G for Cisco Unified Communications Manager 7.0

電話機の使用方法
ショートカット キー およびボタン
ソフトキーの定義
テキストの入力
電話スクリーンのアイコン
電話機の一般的なタスク

電話機の使用方法

電話機の電源をオン / オフにする	電話機の電源がオンまたはオフになるまで、  を押し続けます。
電話の機能にアクセスする	機能リストを表示するには、[オプション] を押しします。 • 機能の番号キーを押すか、 • その機能にスクロールして、  を押しします。
メインのメニュー オプションにアクセスする	ナビゲーションの矢印を押して、次のものを選択します。 • [ディレクトリ] メニュー (本) • [回線表示] (電話) • [設定] メニュー (工具) • [サービス] メニュー (地球) メニュー オプションの番号キーを押します。
電話帳にアクセスする	[電話帳] ソフトキーを押すか、[ディレクトリ] > [電話帳] を選択します。
画面の明るさを調整する	[設定] > [電話の設定] > [画面設定] を選んで、[画面の明るさ] を選択します。  または  を押して、[保存] を押しします。

ショートカット キー およびボタン

呼出音とバイブレーションを切り替える	 を押し続けます。
ボイスメッセージにアクセスする	 を押し続けます。
呼出音、ハンドセットまたはスピーカの音量を調節する	 上または下を押します。
電話機をミュート / ミュート解除にする	 を押しします。
スピーカとハンドセットを切り替える	 を押し続けます。
キーボードをロックする	 を押し続けます。
キーボードのロックを解除する	[解除] を押してから、[OK] を押しします。

ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
割込み	共有回線のコールに参加する
折返し	話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
D 転送	2つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオンまたはオフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
G ピック	他のグループまたは別の回線で呼び出し中のコールに応答する
ハント	ハントグループにログインまたはログアウトする
即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	すでに1つの回線上にある複数のコールをまとめて、1つの会議コールを作成する
迷惑呼	不審なコールを記録する
ミーティング	ミーティング会議コールを開催する
メッセージ	ボイスメールにアクセスする
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
電話帳	電話帳を開く
ピック	自分のグループで鳴っているコールに応答する
品質	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
削除	会議の参加者を削除する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
転送	コールを転送する


テキストの入力


文字：キーを1回または複数回押します。


スペース：を押します。


数字：数字キーを押します。

記号：次のキーを押します。













を押すと、*+./=:;を入力できます。



















を押すと、スペース, ‘[_ ~ ’を入力できます。

を押すと、#?() [] { }を入力できます。

を押すと、!@<>%\$%^&を入力できます。

電話スクリーンのアイコン

回線とコールのステータス	
	オフフック
	接続コール
	コールの保留
	コール転送が有効
	使用中の共有回線
	着信コールまたは BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)
	BLF で監視された回線が使用中
	BLF で監視された回線がアイドル状態
	BLF で監視された回線はサイレント状態です。
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト (BLF ステータス不明)
	アイドル状態のインターコム回線
	一方方向オーディオのインターコム回線

	双方向オーディオのインターコム回線
回線機能	
	電話回線
	サービス URL
	ボイス メッセージ
その他の機能	
	ミュートをオンにする
	ヘッドセットを有効にする
	スピーカ モードを有効にする
	呼出音をオフにする(サイレントモード)
	呼出音とバイブレーションをオンにする
	バイブレーションだけをオンにする
	アプリケーションをアクティブにする
	無線信号のステータス
	無線信号なし
	バッテリーの充電ステータス
	デスクトップチャージャーに接続
	呼出音をオフ(サイレントモード)にして、デスクトップチャージャーに接続
	キーボードのロック
	連絡用の業務電話番号
	連絡用の自宅電話番号
	連絡用の携帯電話番号
	連絡用のその他の電話番号

Contents

はじめに 1

- このガイドの使用方法 1
- 追加情報の入手 2
- 安全および使用における情報 3
- シスコ製品のセキュリティの概要 8
- アクセシビリティ機能 8

電話機の接続 9

- 電話機のバッテリーの取り付けと取り外し 10
- 電話機のバッテリーの充電 11
 - AC 電源装置を使用する際のバッテリーの充電 11
 - USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電 13
- 電話機の電源オン 15
- ユーザ名とパスワードの設定 16
 - テキストの入力と編集 17
- Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のアクセサリ 18
 - ヘッドセットについて 18
 - ロック セットとケーブル ロックを使用する際の電話機の固定 19

電話機の概要 21

- ボタンとハードウェアについて 22
- 電話スクリーンの機能について 26
 - ホーム スクリーンの表示について 28
- 機能ボタンとメニューについて 29

電話機のヘルプ システムの使用	30
電話機のボタンの使用	30
回線とコールの違いについて	32
回線とコールのアイコンについて	32
範囲外の警告音について	34
機能のアベイラビリティについて	34
電話機のクリーニング	35

基本的なコール処理 36

コールの発信：基本的なオプション	36
コールの発信：その他のオプション	39
コールへの応答	42
コールの終了	43
コールの保留と復帰	44
ミュートの使用	45
複数のコール間での切り替え	46
コールの転送	47
別の電話番号へのコールの転送	49
サイレントの使用	50
会議コールの使用方法	52
会議の各機能の使用方法	52
会議機能の使用方法	52
参加機能の使用方法	54
C 割り込みの使用方法	55
ミーティングの使用方法	55
会議参加者の表示または削除	57
インターコム コール発信と着信	58

応用的なコール処理	60
短縮ダイヤル	60
短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用方法	62
自分の電話機で他の電話機の着信に应答	63
パークされているコールの保存と取得	64
ハントグループからのログアウト	65
共有回線の使用	66
共有回線について	66
割り込みの使用による共有回線のコールへの参加	67
割り込み機能について	67
割り込み機能の使用方法	67
他者による共有回線のコールの表示および参加の防止	68
BLFの使用による回線状態の確認	69
安全なコールの送受信	71
不審なコールのトレース	72
重要なコールの優先順位付け	73
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	74
アプリケーション ボタンの使用方法	75
Push to Talk サービスの使用方法	75
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	76
ヘッドセットの購入	78
自動応答の使用	79
電話機の設定の変更	80
呼び出しのカスタマイズ	80
音量設定のカスタマイズ	82
電話スクリーンのカスタマイズ	84
キーパッド設定の変更	86

任意のキーを使用して電話機に応答する	86
キーパッドの自動ロック設定	87
キーパッド トーンの変更	88
ネットワーク プロファイル リストの表示	89
履歴およびディレクトリの使用方法	90
履歴の使用方法	90
ディレクトリ ダイヤリング	92
電話機での社内ディレクトリの使用方法	92
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	93
Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降	93
Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降	93
電話機での電話帳の使用方法	96
ボイス メッセージへのアクセス	100
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	102
Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ	102
ユーザ オプション Web ページへのログイン	103
IP Phone サービスへの登録	103
Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ	105
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	105
Web での機能およびサービスの設定	106
Web での短縮ダイヤルの設定	107
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	108
Web での電話機サービスの設定	111
Web でのユーザ設定の制御	113
Web での回線設定の制御	114

Cisco WebDialer の使用	115
その他の設定オプションについて	118
電話機のトラブルシューティング	120
一般的なトラブルシューティング	120
電話管理データの表示	122
Quality Reporting Tool の使用方法	122
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	123
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作
安全情報を参照する	P.3 の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話をネットワークに接続する	P.9 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.21 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンとメニューについて調べる	P.29 の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	P.26 の「電話スクリーンの機能について」を参照してください。
コールを発信する	P.36 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.44 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.45 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.47 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.52 の「会議コールの使用法」を参照してください。
別の番号にコールを転送する	P.49 の「別の電話番号へのコールの転送」を参照してください。
電話番号を共有する	P.66 の「共有回線の使用」を参照してください。
別の電話機で呼び出し中のコールに応答する	P.63 の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.76 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法」を参照してください。

目的	必要な操作
短縮ダイヤルを設定する	P.60 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	P.80 の「呼び出しのカスタマイズ」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.90 の「履歴およびディレクトリの使用方法」を参照してください。
ボイス メッセージを聞き取る	P.100 の「ボイス メッセージへのアクセス」を参照してください。
ユーザ オプション Web ページを使用して電話機をカスタマイズする	P.102 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

シスコの最新のマニュアルは、次の URL からアクセスしてください

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

<http://www.cisco.com/jp>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

最新のライセンス情報については、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html

このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ipt_ipp.shtml

安全および使用における情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、無線 IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、機器に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保存しておいてください。



(注)

警告の各国語表記については、この製品に付属している『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Series and Peripheral Devices*』にある番号を参照してください。



警告

システムを電源に接続する前に、取り付け手順をお読みください。ステートメント 1004



警告

電源の異常および障害が発生した場合、Voice over IP (VoIP) サービスおよび緊急コールサービスは機能しません。VoIP および緊急コール サービスへのアクセスを回復するため、場合によっては、電源が復旧してから装置をリセットまたは再設定する必要があります。米国では、この緊急番号は 911 です。自国の緊急番号を確認してください。ステートメント 361



警告

バッテリーチャージャーのプラグとソケットは重要な切断手段となるため、常に手の届く場所に配置してください。ステートメント 1019



警告 バッテリーチャージャーでは、屋内取り付けの一環として短絡（過電流）保護を行う必要があります。国および各地域の配線規制に準拠して取り付けを行ってください。ステートメント 1045



警告 高濃度の引火性ガスが発生する場所など、危険な環境で無線 IP Phone を使用しないでください。このような場所で無線デバイスを使用する前に、設置場所の安全管理責任者に確認してください。



警告 受話器には磁場が発生するので、ピンやクリップなどの小さい金属が引き寄せられる場合があります。ケガを避けるため、そうした物がある場所には受話器を置かないでください。

バッテリーの安全上の注意事項

次に示すバッテリーの安全上の注意事項は、Cisco Wireless IP Phone 7921G の専用バッテリーに適用されません。



警告 バッテリーの取り扱い方を間違えると破裂、発火の危険があります。バッテリーは、必ずシスコが指定する型番のバッテリーに交換してください。使用済みのバッテリーは、各自治体の条例などに従って廃棄してください。ステートメント 1015



警告 この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。ステートメント 1040



警告 バッテリーパックを火または水の中に廃棄しないでください。火の中に捨てると、バッテリーが爆発する可能性があります。

**注意**

バッテリーパックは、この装置だけで使用することを目的としています。

**注意**

バッテリーパックを分解、粉碎、破壊、または焼却しないでください。

**注意**

バッテリーパックの発火、消耗、または損傷の危険を防ぐために、バッテリー端子に金属を触れさせないようにしてください。

**注意**

損傷または漏電したバッテリーの取り扱いには、十分注意してください。電解液に触れた場合は、触れた部分を石鹼と水で洗ってください。電解液が目に入った場合は、水で15分間目を洗い流し、医師の診察を受けてください。

**注意**

気温が104 °F (40)を超える場合は、バッテリーパックを充電しないでください。

**注意**

バッテリーパックを保管するときは、高温 (140 °F、60 超) にさらさないでください。

**注意**

バッテリーパックを廃棄するときは、バッテリーの廃棄またはリサイクルに関する地域の制限について、お住まいの地域の条例などの規則をご確認ください。



注意

交換用バッテリーを入手するには、お近くの販売店にお問い合わせください。シスコの部品番号の付いたバッテリーだけを使用してください。

標準バッテリー：CP-BATT-7921G-STD

拡張使用バッテリー：CP-BATT-7921G-EXT



注意

ご使用の電話機に付属しているシスコの電源だけを使用してください。電源装置を注文するには、お近くの販売店にお問い合わせください。また、シスコの部品番号のリストを参照してください。

オーストラリア：CP-PWR-7921G-AU=

中央ヨーロッパ：CP-PWR-7921G-CE=

中国：CP-PWR-7921G-CN=

日本：CP-PWR-7921G-JP=

北米：CP-PWR-7921G-NA=

英国：CP-PWR-7921G-UK=



(注)

バッテリーと電源装置は電話機に取り付けられていません。バッテリーと電源装置を注文するには、お近くの販売店にお問い合わせください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている無線アクセスポイントに依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コールサービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置のリセットまたは再設定をしてから、利用または緊急コールサービスへのダイヤルを行う必要があります。

規制国

この電話の無線周波数（RF）は、国ごとの規制に基づき設定されています。この電話をその規制国外で使用した場合は、電話が正しく機能せず、その国の規制に違反する場合があります。

医療環境

本製品は医療機器ではないため、他の装置や機器からの妨害を受けやすい無認可の周波数帯を使用する場合があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco Unified Wireless IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

システム管理者は、ユーザの新規 Cisco Unified Wireless IP Phone の設定を行い、社内の無線ネットワークおよび IP テレフォニー ネットワークに接続します。

充電式リチウム イオン バッテリにより、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G に電力が供給されます。電話機を使用するには、まず電話機にバッテリーを取り付け、充電する必要があります。各バッテリーが完全に充電されている場合、サービスを利用できる時間は次のとおりです。

- 標準バッテリーでは、最高 11 時間の連続通話と 150 時間の連続待ち受けが可能になります。
- 拡張バッテリーでは、最高 15 時間の連続通話と 200 時間の連続待ち受けが可能になります。

電話機のバッテリーの取り付けと取り外し

バッテリーの取り付けまたは取り外しを行うには、次の手順を実行します。

目的	必要な操作または状態の説明
バッテリーの取り付け	<ol style="list-style-type: none">1. 電話機の下側にあるスロットに、バッテリーの爪をはめ込みます。バッテリーと電話機の電源端子がそれぞれ向かい合っていることを確認してください。2. バッテリーが固定されるまで、バッテリーを電話機の本体に押し込みます。
バッテリーの取り外し	<ol style="list-style-type: none">1. 片手で固定用の爪を押し上げます。2. もう一方の手でバッテリーの端を支え、バッテリーを引き出して取り外します。



1	固定用の爪：これを押ししてバッテリーを取り外します。
2	バッテリーの爪：バッテリーを取り付けるときには、電話機の下側近くにあるスロットにこれらをはめ込みます。
3	電源端子：バッテリーの端子と電話機の端子が向かい合うようにします。

電話機のバッテリーの充電

AC 電源装置または USB ケーブルを電話機に接続することによって、無線 IP Phone でバッテリーを充電することができます。詳細については、次の項を参照してください。

- AC 電源装置を使用してのバッテリーの充電 (P.11)
- USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電 (P.13)

バッテリーの種類	AC 電源装置を電話機に接続した場合の充電時間	USB ケーブルを使用して PC の USB ポートに電話機を接続した場合の充電時間
標準	2 時間	5 時間
拡張	3 時間	7 時間



(注) デスクトップチャージャーやマルチチャージャーを使用して、バッテリーを充電することもできます。詳細については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide*』を参照してください。

AC 電源装置を使用してのバッテリーの充電

AC 電源装置を電話機に接続することによって、バッテリーをすばやく充電できます。AC 電源コンセントが異なる場合は、適切な AC プラグアダプタを AC 電源装置に取り付ける必要があります。

バッテリーの充電中でも電話機は使用できます。バッテリーの充電後は、電源装置のコードを抜いても、電源コードに電話機を接続したままにしておいてもかまいません。



(注) 設定によっては、電話機が AC 電源に接続されると、自動的に電話機の電源がオフになることがあります。AC 電源には、電源装置、デスクトップチャージャー、またはマルチチャージャーが含まれます。AC 電源に接続中に、電話機がコールで使用中心（または電話機サービスを使用中心）の場合、コールまたは電話機サービスの終了時に電話機の電源がオフになります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

AC 電源装置を使用して電話機のバッテリーを充電する場合は、次の図を参照してください。




1	AC プラグアダプタ : AC プラグ アダプタを電源装置のスロットに挿入します。
2	AC 電源装置 : AC コンセントに差し込みます。
3	AC 電源装置ケーブルの電話機コネクタ : 電話機の下部にあるコネクタのスロットに差し込みます。
4	インジケータ ライト : 充電のステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none">赤 : バッテリーの充電が進行中緑 : バッテリーの充電が完了

USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電

USB ケーブルで電話機を PC の USB ポートに接続することによって、電話機のバッテリーを充電できます。PC 上の USB ポートを使用してバッテリーを充電すると、充電時間が長くなります。




USB ケーブルと USB ポートを使用してバッテリーを充電するには、次の図を参照して手順を実行してください。



目的	必要な操作または状態の説明
USB ケーブルを使用してバッテリーを充電する	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB ケーブルに付いている電話機のコネクタを電話機に差し込みます。 2. USB A タイプ コネクタを PC の USB ポートに差し込みます。 <div style="margin-left: 20px;">  <p>(注) 新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されたら、次の手順を実行してそれを中断します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 3. 電話機のステータス行に「USB が接続されました」と表示されたら、インジケータ ライトを確認します。 バッテリーの充電中は、インジケータ ライトは赤です。バッテリーが完全に充電されると、インジケータ ライトは緑になります。
USB ポートへの接続時に新しいハードウェアの検索ウィザードが開かないようにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウィザードのダイアログボックスを使用するため、[次へ]をクリックします。 2. [ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?] ダイアログで、[いいえ、今回は接続しません]をクリックし、[次へ]をクリックします。 3. [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)]をクリックし、[次へ]をクリックします。 4. 数秒後、[このハードウェアをインストールできません]ダイアログが表示されます。[このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない]をクリックします。 5. [終了]をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

電話機の電源オン

バッテリーを充電後、電話をかけたたり受信したりするには、電話機の電源をオンにする必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
電話機の電源をオンにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話機の電源がオンになるまで、 (赤色のボタン) を押したままにします。 2. ユーザ名とパスワードを入力して無線ネットワークにアクセスする必要があります。詳細については、P.16 の「ユーザ名とパスワードの設定」を参照してください。 3. 認証と Cisco Unified Communications Manager への登録が完了すると、電話機にメイン画面が表示され、電話を発信または受信できる状態になります。
信号の強度を確認する	<p> アイコンには、無線アクセスポイントとユーザの電話機間の信号強度が示されます。電話機でコールを発信または着信するには、少なくとも 1 本のバーが必要です。</p> <p>信号の到達範囲外に電話機を移動させると、無線 LAN との通信が失われます。 アイコンが表示され、「サービス圏外に接近中」ステータス行が表示されます。</p>








ヒント

アイドル状態の電話機の画面は、ある程度の時間がたつとオフになります。電話機がまだオンになっていて、バッテリーの電力を使用して無線ネットワークに接続している場合は、それを知らせるためインジケータライトが 2 秒ごとに緑色に点滅します。

ユーザ名とパスワードの設定






ネットワークによっては、電話機の電源を最初にオンにしたときに、無線ネットワークにアクセスするためのユーザ名とパスワードを設定しなければならない場合があります。

詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明
ユーザ名とパスワードの設定	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="344 368 1147 402">1.  ([設定]) > [ネットワークプロファイル] を選択します。<li data-bbox="344 415 1201 449">2. 現在のプロファイル名を強調表示し ( を使用) [表示] を押します。  (注)  アイコンは、この画面がロックされていることを示します。 詳細については、システム管理者にお問い合わせください。<li data-bbox="344 609 989 643">3. [WLAN の設定] を強調表示し、[表示] を押します。<li data-bbox="344 651 1201 685">4. [ユーザ名] または [パスワード] までスクロールして、 を押します。<li data-bbox="344 693 1201 751">5. キーボードを使用して、[新規 ユーザ名] または [新規 パスワード] フィールドにユーザ名またはパスワードを入力します。 これについては、P.17 の「テキストの入力と編集」を参照してください。  (注) EAP/LEAP パスワードは、英数字を使用して 32 文字以内で入力してください。<li data-bbox="344 959 1083 993">6. 変更を確認するには、[オプション] > [保存] を選択します。<li data-bbox="344 1002 1037 1036">7. メイン画面に戻るには、 (赤色のボタン) を押します。

テキストの入力と編集

パスワードには、文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーパッドの数字キーを押すと、そのキーが制御するすべての文字と記号が表示されます。キーを押すたびに、別の文字が表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
文字の入力	数字キーを押し続けて、入力する文字（小文字または大文字）を強調表示させます。
数字の入力	数字キーを押して、入力する数字を見つけます。
最後の文字の削除	<< を一度押して最後の文字または数字を削除するか、<< を押し続けて文字列全体を削除します。
スペースの入力	文字間にスペースを入力するには、  を押します。
特殊文字と記号の入力	 を押すと、次の記号を表示および入力できます。* + - / = \ ; ;  を押すと、次の記号を表示および入力できます。スペース, ‘ “ _ ~ ‘  を押すと、次の記号を表示および入力できます。# ? () [] { }  を押すと、次の記号を表示および入力できます。! @ < > \$ % ^ &
編集モードのキャンセル	メニュー オプションやメイン画面に戻るには、必要に応じて [オプション] > [キャンセル] を押します。

TAPS（内線番号自動登録システム）への登録

電話機を無線 LAN ネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support（TAPS）を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、切断します。電話機が再起動します。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のアクセサリ

ご使用の電話機では、次の電話アクセサリを使用できます。

- 標準および拡張バッテリー
- 各地域用の AC 電源
- スピーカフォン付きのデスクトップ チャージャー
- マルチチャージャー
- キャリング ケース
- ロック セット

アクセサリの一覧については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide](#)』を参照してください。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、[P.76 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」](#)を参照してください。シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を 1 つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、[P.7 の「外部デバイスの使用」](#)を参照してください。

特定のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ご使用の電話機のヘッドセットの詳細は、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide*』および次の Web サイトを参照してください。

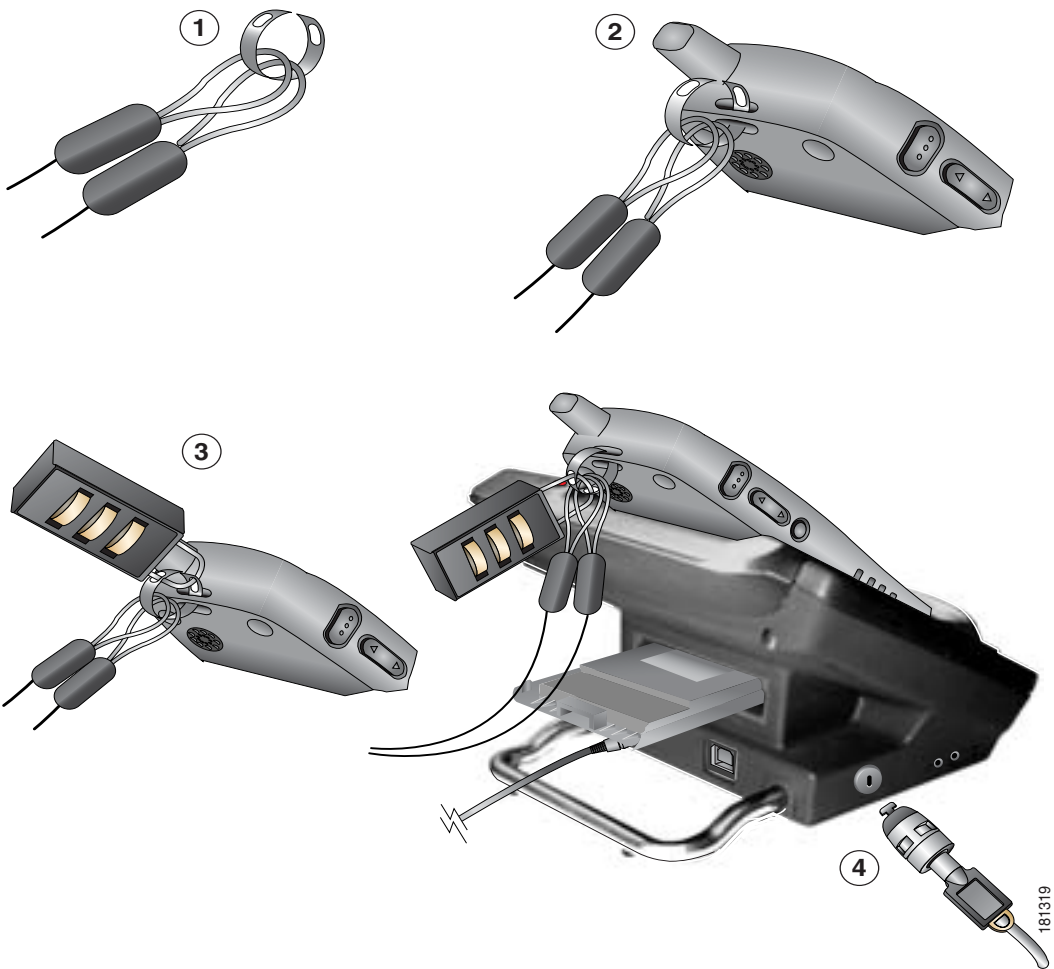
- <http://www.plantronics.com>
- <http://www.jabra.com>

ロック セットとケーブル ロックを使用しての電話機の固定

シスコからロック セットを注文して、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G をデスクトップに固定することができます。詳細については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide*』を参照してください。

ロック セットを取り付ける場合は、図を参照して次の手順を実行してください。

目的	必要な操作または状態の説明
電話機にロック セットを取り付ける	<ol style="list-style-type: none"> 1. セキュリティ ケーブルをデスクトップの支柱の周りに、または穴を通して、取り付けます。セキュリティ ケーブルの端にあるループを C リングに通します。 2. ケーブルループの付いた C リングを電話機の背面にあるスロットに挿入します。 3. ダイヤル ロックを使用して、ケーブルループと電話機を通した C リングの両端を固定します。 電話機がデスクトップの周辺に固定されます。 4. デスクトップ チャージャーを固定するには、ラップトップ ケーブル ロックを使用します。



Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のデスクトップチャージャーは、ラップトップケーブルロックを使用して固定できます。デスクトップチャージャーの側面にあるセキュリティスロットにロックを取り付け、ケーブルをデスクトップに固定します。ロックを挿入する場所は、図を参照してください。



(注) ロックセットには、ケーブルロックは含まれていません。

電話機の概要

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G は、コンピュータで使用する同じ無線 LAN で音声通信を行うための機能をすべて搭載した電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。




設定に応じて、この電話機は次の機能をサポートします。









- 電話番号と社内ディレクトリへの無線アクセス
- 最大 100 件の連絡先と、これらのローカル電話帳の連絡先に割り当て可能な短縮ダイヤル ホットキーを格納できる電話帳
- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページを使用した、オンラインによる電話機の機能とサービスのカスタマイズ
- 電話機のスクリーンに情報を表示するオンライン ヘルプ システム








ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアの理解のために、次の図を使用することができます。



1	インジケータ ライト (LED)	<p>次の表示があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 点滅しない赤：電話機が AC 電源に接続され、バッテリーが充電中です。 点滅しない緑：電話機が AC 電源に接続され、バッテリーが完全に充電されています。 速く点滅する赤：着信コール（電話機は、充電中または完全に充電されています）。 ゆっくりと点滅する赤：ボイス メッセージ（電話機が AC 電源に接続されている場合は、バッテリーだけを使用している場合よりも赤色のライトが長く表示されます）。 ゆっくりと点滅する緑（2 秒ごと）：電話機はバッテリーの電力だけを使用しています。電話機は無線ネットワークに登録されており、サービスが及ぶ範囲内にあります。
2	ヘッドセットポート 	ヘッドセットまたは小型イヤホンをプラグインするためのポート。
3	スピーカ ボタン 	電話機のスピーカ モードをオンまたはオフに切り替えます。
4	右ソフトキー ボタン 	ソフトキーのリストにアクセスするには、[オプション] メニューをアクティブにします。ソフトキー ラベルが表示される場合もあります。

<p>5 ナビゲーションボタン</p> 	<p>メイン画面から次のメニューとリストにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲  ディレクトリ ▶  回線表示 ▼  設定 ◀  サービス <p>メニューを上下にスクロールして、オプションを強調表示したり電話番号とテキスト エントリを左右に移動したりするために使用します。</p>
<p>6 選択ボタン</p> 	<p>メイン画面から、[ヘルプ] メニューをアクティブにします。</p> <p>メニュー項目、ソフトキー、コール、またはアクションの選択に使用します。</p>
<p>7 電源 / 終了キー (赤)</p> 	<p>電話機のオンとオフを切り替えたり、接続されているコールを終了したり、着信コール中の呼出音を無音にしたりします。</p> <p>メニューを使用している場合は、メイン画面に戻るショートカットとして動作します。</p>
<p>8 シャープ (#) キー</p> 	<p>キーパッドをロックします。</p> <p>テキスト入力時は次の特殊文字を入力できます。 # ? () [] { }</p>
<p>9 ゼロ (0) キー</p> 	<p>番号をダイヤルするときに「0」を入力します。テキスト入力時に、スペースまたは次の特殊文字を入力できます。 , . ‘ “ _ ~ ’</p>

10	アスタリスク (*) キー 	呼出音モードとパイブレーション モードを切り替えます。 テキスト入力時は特殊文字にアクセスできます。 * + - / = \ : ;
11	キーパッド	番号のダイヤル、文字の入力、および番号によるメニュー項目の選択に使用します。
12	1 キー 	番号をダイヤルするときに「1」を入力します。ボイス メッセージ システムへのアクセスに使用します。 テキスト入力時は特殊文字にアクセスできます。 ! @ < > \$ % ^ &
13	応答/発信ボタン (緑) 	鳴っているコールへの応答や番号のダイヤル後にコールを発信するために使用します。
14	左ソフトキー ボタン 	画面上に表示されるソフトキー オプションをアクティブにします。 ユーザの設定により、メッセージに直接アクセスしたり、電話機がアイドル状態のときに電話帳を開いたりします。
15	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。
16	音量ボタン 	電話機がアイドル状態の場合は、呼出音の音量を制御したり、パイブレーション オプションをオンにしたり、呼出音をオフにしたりします。 着信コールの呼び出し中にこのボタンを 1 回押すと、そのコールの呼出音を無音にします。 通話中は、ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ モードのスピーカの音量を制御します。
17	アプリケーショ ン ボタン 	XML アプリケーション (Push to Talk や他のサービスなど) で使用します。詳細については、 P.75 の「アプリケーション ボタンの使用方法」 を参照してください。

電話スクリーンの機能について

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G にはソフトキーが 2 つしかないので、電話機で使用できる機能オプションのリストが、オプション ソフトキーを押すと表示されます。オプション リストに表示される機能は、電話機がアイドル状態かアクティブなコール中かによって異なります。

次に、オプション リストが開かれたメインの電話スクリーンを示します。



1	電話ステータス行アイコン	次のアイコン（アクティブな場合）と電話番号が表示されます。
		バッテリーの充電アイコン：バッテリーの充電レベルを示します。
	バッテリーの除去アイコン：バッテリーが除去されたか、認識されていないことを示します。	
	信号アイコン：信号の強度を示します。	

1		キー ロック アイコン: キーボードがロックされていることを示します。
		スピーカ アイコン: スピーカ モードがアクティブであることを示します。
		ミュート アイコン: ミュートがアクティブであることを示します。
		ヘッドセット アイコン: ヘッドセットが電話機に接続されていることを示します。
		呼出音オフ アイコン: 電話機のアラートが無音であることを示します。
		バイブレーション アイコン: 電話機のアラートがバイブレーションだけであることを示します。
		バイブレーションおよび呼出音アイコン: 電話機のアラートがバイブレーションと呼出音であることを示します。
		デスクトップ チャージャー アイコン: 電話機がチャージャーに接続されていることを示します。
		デスクトップ チャージャー サイレント アイコン: チャージャーに接続されている電話機の呼出音がオフであることを示します。
		ボイス メッセージ アイコン: ボイス メッセージがあることを示します。
		アプリケーション アイコン: アプリケーション (Push to Talk など) がアクティブであることを示します。
7010	プライマリ電話回線: プライマリ電話回線の電話番号を表示します。	
2	日付と時刻の行 17:38 08/10/02	時刻と日付の情報を表示します。
3	オプション メニュー	現在のコール状態のソフトキー機能を表示します。
4	ソフトキー ラベル エリア [電話帳] - [非表示]	ソフトキー オプションを表示し、ソフトキー機能の オプション リストへのアクセスを提供します。
		メニューまたは画面用のアクティブなナビゲーション矢印を表示します。
5	ステータスおよび情報 [オプション]	電話機のステータスまたは指示を示します。
6	メイン電話スクリーン	4 つのメニュー アイコンとヘルプを表示します。

ホームスクリーンの表示について

ホームスクリーンは、電話機がアイドル状態のときに電話スクリーンに表示される画面です。ホームスクリーンは、メイン電話スクリーンまたは回線表示にすることができます。システム管理者がホームスクリーンの電話機での表示方法を決定します。

メイン電話スクリーンが表示されたホームスクリーン

次の図は、メイン電話スクリーンを表示したホームスクリーンです。











回線表示でのホームスクリーン


次の図は、回線表示にしたホームスクリーンです。メイン電話スクリーンにアクセスするには、◀ を押します。



機能ボタンとメニューについて

メイン電話スクリーンから、ナビゲーション ボタンを使用して機能メニューにアクセスできます。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開く	<p>ナビゲーション ボタンの矢印を押して、メイン電話スクリーンのメニューにアクセスします。</p> <p>▲  ディレクトリ</p> <p>▶  回線表示</p> <p>▼  設定</p> <p>◀  サービス</p>
メニューまたはリストをスクロールする	<p>上または下のナビゲーション ボタンを押します。</p> 
メニュー オプションを選択する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 項目のキーパッド番号キーを押します。 • スクロールして項目を強調表示してから、 ボタンを押します (ナビゲーション ボタンの中央)。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	<p>[戻る] を押します。</p> <p> (注) <u>メニューを閉じてメイン電話スクリーンに戻るには、任意のメニュー レベルから  を押します。</u></p>

目的	必要な操作または状態の説明
カーソルの位置を変更し、電話番号または名前を編集する	左または右のナビゲーション ボタンを押します。 
強調表示されたコールまたはオプションを選択する	●を押します。
ヘルプにアクセスする	メイン画面から、●を押します。














電話機のヘルプ システムの使用

電話機には、オンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目は画面に表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
メイン メニューを表示する	●を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メイン メニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明 • 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順 • コール機能：コール機能に関する説明や手順 • ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ヘルプを使用してヘルプを表示する	●を押し、オンライン ヘルプ メイン メニューが表示されるのを待ってから、ヘルプを選択します。



電話機のボタンの使用

電話機のキーパッドおよびボタンは、頻繁に使用される次の機能へのショートカットとして使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
電話機のキーパッドのロック	<p>ステータス行に「キーパッドがロックされました」が表示され、メイン画面の上部に  アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。</p> <p> (注) 着信コールを受けると、キーパッドのロックは一時的に使用できなくなります。</p>	キーパッドの自動ロック設定 (P.87)
電話機のキーパッドのロック解除	<p>[解除] を押します。「キーパッドをロック解除しますか？」と画面に表示されたら、[OK] を押します。 アイコンが消えます。</p> <p> (注) 表示されるとすぐに、[解除] と [OK] ソフトキーを押す必要があります。すぐに押さないと、キーパッドはロックされたままです。</p>	
呼出音モードとバイブレーションモードの切り替え	<p>画面に「バイブレータをオンにします」と表示され、上部に  アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。</p> <p>呼出音モードに切り替えるには、画面に「バイブレータをオフにします」と表示され、 アイコンが消えるまで、 を押し続けます。</p> <p> (注) 音量ボタンを使用してバイブレータを設定することもできます。</p>	呼び出しのカスタマイズ (P.80)
ボイスメッセージの聞き取り	<p>電話機がボイスメッセージシステムに接続されるまで、 を押し続けます。</p>	ボイスメッセージへのアクセス (P.100)
コール中の音量の調整	<p>ハンドセット、スピーカ、またはヘッドセットでのコールについては、 を押します。</p>	電話機のボタンの使用 (P.30)
コールの呼出音パターンの変更	<p>電話機がアイドル状態の場合は、 を押して呼出音音量、バイブレータ、またはサイレントモードを設定します。</p>	呼び出しのカスタマイズ (P.80)

回線とコールの違いについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線：他の人がコールを発信するために使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。ご使用の電話機は、6回線までサポートします。電話回線を確認するには、▶
 を押して回線表示を開きます。回線表示リストの電話回線アイコン  を持つ電話番号と同じだけの回線を持つことができます。
- コール：1回線で複数のコール（通常最大4コール）をサポートできます。電話機は、24までのコールの接続をサポートしますが、システム管理者は、ユーザの必要に応じてコール数を調整することができます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて



保留中（9916）と接続中（7718）の2つのアクティブコールがあるメインの電話スクリーンを次に示します。




1	電話ステータス行	アイコンと電話番号
2	コール アクティビティ領域	発着信側情報、接続時間、コール状態アイコン
3	ステータス行	選択した回線のステータス
4	ソフトキーのラベル	コール機能とオプションのリスト

電話機には、回線とコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	この回線は使用中ですが、コールに接続されていません。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	コールの保留	コールが保留されています。P.44 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	コール転送が有効	プライマリ回線を転送しました。P.49 の「 別の電話番号へのコールの転送 」を参照してください。
	認証されたコール	P.72 の「 不審なコールのトレース 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.72 の「 不審なコールのトレース 」を参照してください。
	使用中の共有回線	共有回線がリモートで使用中です。P.66 の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	着信コールまたは BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	コールが回線の 1 つまたは BLF で監視された回線で呼び出し中です。 BLF のピックアップについては、P.69 の「 BLF の使用による回線状態の確認 」を参照してください。
	BLF で監視された回線がアイドル状態	P.69 の「 BLF の使用による回線状態の確認 」を参照してください。
	BLF で監視された回線が使用中	P.69 の「 BLF の使用による回線状態の確認 」を参照してください。
	BLF で監視された回線がサイレント状態	P.69 の「 BLF の使用による回線状態の確認 」を参照してください。
	回線で BLF インジケータが使用不可	P.69 の「 BLF の使用による回線状態の確認 」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は未使用です。P.58 の「 インターコムコールの発信と着信 」を参照してください。


アイコン	回線またはコールの状態	説明
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.58の「インターコム コールの発信と着信」を参照してください。
	双方向のインターコムコール	通話相手がインターコム回線を押して発信者との双方向のオーディオをアクティブにしました。P.58の「インターコム コールの発信と着信」を参照してください。

範囲外の警告音について

システム管理者は、無線ネットワークの範囲外に出たときに音声による警告音（ビープ音）を鳴らすように電話機を設定できます。警告音が鳴ると、このアイコン （信号アイコンではありません）が電話スクリーンに表示されます。

無線ネットワークの範囲外に出ると、コールを受信するなどの無線ネットワーク接続が必要な電話機の機能を使用することができません。

システム管理者が範囲外の警告音を有効にしていると、設定によって、無線ネットワークの範囲内に戻るまで、ビープ音が1回だけ、または10秒、30秒、60秒ごとに鳴ります。

警告音が鳴った後で無線ネットワークに再接続するには、信号アイコン  が電話スクリーンに再び表示されるまで、場所を移動します。

機能の Availability について

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G の操作方法および利用可能な機能は、お客様の社内で使用されるコール処理エージェント、またお客様の社内の電話機サポートチームが電話機システムを設定した内容により異なることがあります。このため、このガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機システムで利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能の Availability については、お客様の社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

電話機のクリーニング

電話スクリーンおよび電話機は、柔らかく乾いた布で軽く拭きます。電話機に液体や粉がかからないようにしてください。柔らかく乾いた布以外で拭くと、電話機の部品が汚れたり、故障したりする可能性があります。



(注) 電話機を清掃または消毒する必要がある場合は、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G 用のシリコン ケースを購入してください。詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide](#)』を参照してください。

基本的なコール処理








機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。












コールの発信：基本的なオプション

無線 IP Phone には、次のように、簡単に電話をかける方法がいくつか用意されています。






(注) システム管理者は、無線ネットワークの範囲外に出たときに（ピープ音によって）通知するように電話機を設定できます。電話機が無線ネットワークの範囲内にあるときのみ、電話機を使用することができます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none">1. 電話番号をダイヤルします。2.  を押して発信します。 <p> (注) ダイヤル トーンはありません。</p>	コールへの応答 (P.42)
ハンドセットでスピーカ モードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none">1.  ボタンを押し続けてスピーカをアクティブにします。2. 電話番号をダイヤルします。3.  を押して発信します。 <p> (注) 再度  ボタンを押し続けて、スピーカ モードをオフにします。</p>	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.76)
番号をリダイヤルする	 を 2 回押すか、[オプション] [リダイヤル] を選択します。	

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（同じ回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> [保留] を選択します。 [オプション] > [発信] を選択します。 番号をダイヤル、リダイヤル、または短縮ダイヤルします。  <p>(注) [発信] を選択すると、ダイヤルトーンが聞こえます。</p>	コールの保留と復帰 (P.44)
電話帳からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  > [電話帳] または [電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を選択します。 連絡先名を強調表示し、次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかの電話番号アイコンが表示されるまで、左または右にスクロールします。  勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話 [オプション] > [詳細] を選択し、電話番号を強調表示します。  または [オプション] > [ダイヤル] を押します。 	電話機での電話帳の使用方法 (P.96)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  を押します。 [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 リストの番号キーを押すか、リストをスクロールして  を押します。 	履歴の使用方法 (P.90)
国際電話の番号をダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 「+」記号が表示されるまで、 (ゼロ(0)キー) を押し続けます。 「+」記号の後に、国番号を含めた電話番号を入力します。  または [オプション] > [ダイヤル] を押します。 	

ヒント













- 番号をダイヤルし始めると、電話機は発信履歴ログから一致する番号を表示して、ダイヤルしている番号を予測しようとします。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号にコールを発信するには、その番号までスクロールし、 を押します。
- ダイヤル中に間違った場合は、<< を押して数字を消去します。
- 最後の番号をリダイヤルするには、 を 2 回押します。







- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話機でビープ音が聞こえる場合、無線ネットワークの範囲外に出ていることがあります。電話機を使用する場合は、強い信号アイコン  が電話機に表示される場所まで移動します。











コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。






目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ローカル電話帳の連絡先番号に短縮ダイヤルする	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤルホットキーを約2秒間押し続けます。 <p> (注) 2桁の番号をダイヤルする場合は、最初の1桁を入力してから、2桁目の数字を約2秒間押し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none">  > [短縮ダイヤル] を選択し、短縮ダイヤルを強調表示してから、 を押します。 	<p>電話機での電話帳の使用方法 (P.96)</p> <p>短縮ダイヤル (P.60)</p>
電話番号に短縮ダイヤルする (Web で設定された回線表示短縮ダイヤル番号)	<ol style="list-style-type: none">  を押します。 短縮ダイヤル  にスクロールします。  または  を押して電話をかけます。 	<p>短縮ダイヤル (P.60)</p>
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (異なる回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> [保留] を押します。  を押します。 別の回線にスクロールして  を押します。 番号をダイヤルします。  を押して電話をかけます。 	<p>コールの保留と復帰 (P.44)</p>
セカンダリ回線で発信する	<ol style="list-style-type: none">  を押し、別の回線へスクロールします。 番号をダイヤルします。  を押して電話をかけます。 	<p>複数のコール間での切り替え (P.46)</p>



目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ディレクトリ サービス] > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して名前を入力します。 3. [オプション] > [送信] を押します。 4. リストの番号キーを押すか、リストをスクロールします。 5. [ダイヤル] または  を押します。 	ディレクトリダイヤリング (P.92)
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、[折返し]を使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [オプション] > [折返し] を選択します。 2. 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 3. 回線が使用可能な場合は、[ダイヤル] を押してコールを発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	BLF の使用による回線状態の確認 (P.69)
プライオリティ (Precedence) コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. MLPP アクセス番号を入力します。 2.  を押します。 3. 電話番号をダイヤルします。 4.  を押します。 	重要なコールの優先順位付け (P.73)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 3. [オプション] > [送信] を押します。 4. リストをスクロールし、 を押します。 	ディレクトリダイヤリング (P.92)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2.  を押します。 3. トーンの後、CMC (クライアント マター コード)、または FAC (Forced Authorization Code) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログイン情報を入力します。 	Cisco エクステンション モビリティの使用法 (P.74)
Push to Talk コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [Push to Talk Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2.  または [Talk] を使用して送信します。 3.  または [停止] を押して終了します。 	Push to Talk サービスの使用法 (P.75)
ファースト ダイヤルを使用してコールを発信する	<p> (注) このオプションを使用する前に、システム管理者はこの機能を設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  > [Fast Dial Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリを探します。 3.  を押します。 	

コールへの応答

電話機でオプションが使用可能な場合は、それらのオプションを使用してコールに応答できます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
コールに応答する	 を押します。	任意のキーを使用して電話機に応答する (P.86)
着信コールの呼出音を無音にする	 または  を押します。 コールは無音のまま続き、無応答の場合の宛先に転送されます。	
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	 または  を押します。 この操作を行うと、新しいコールに応答し、自動的に最初のコールを保留にできます。	複数のコール間での切り替え (P.46)
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	
ボイスメッセージシステムに直接コールを送信する	[即転送] を押します。	ボイスメッセージへのアクセス (P.100)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.64)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コールピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答 (P.63)


目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
プライオリティコールに回答する	現在のコールを切断し、[応答] または  を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.73)
呼出音が 1 回または 2 回鳴った後の着信コールに自動接続する	自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。  を押さない場合、呼出音が 1 回か 2 回鳴った後、コールは自動的にハンドセットまたはヘッドセットに接続されます。	自動応答の使用 (P.79)

ヒント


- 任意のボタンを使用してコールに回答する方法については、P.86 の「[キーパッド設定の変更](#)」を参照してください。
- キーパッドがロックされている場合でも、着信コールに回答できます。
- 着信コールに回答する前にアプリケーションまたはサービスを使用している場合、コールの終了後にアプリケーションまたはサービスが再開します。

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作または状態の説明
コールを終了する	 、[終了] または [オプション] > [終了] を選択します。
1 つのコールだけを切断し、同じ回線のもう一方のコールを維持する	[終了] または [オプション] > [終了] を選択します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。





コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコン  がコール表示の発信者 ID の横に表示されます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定時間が経過した後に復帰し、電話機で呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やピープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する





目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留] を押します。 <p> (注) コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やピープ音が流れます。</p>
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1.   を押し、別の回線へ変更します。2. [復帰] を押します。 <p> (注) この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。別のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールし、[復帰] を押します。</p>
無線電話機またはデスクの電話機へ共有回線のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブコールに接続している電話機から [保留] を押します。2. 共有回線に接続している他の電話機で、[復帰] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の警告が発生する間隔は、システム管理者が決定します。





ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュート機能は、電話機またはヘッドセットで使用できます。


目的	必要な操作または状態の説明
ミュートをオンにする	コール中に、電話機の左側にある  を押します。  アイコンが電話スクリーンの上部に表示されます。
ミュートをオフにする	 を押します。  アイコンが消えます。

複数のコール間での切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが電話スクリーンで自動的に強調表示されない場合は、そのコールまでスクロールします。





目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1.  を押し、別の回線へ変更します。2. この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。別のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールして強調表示し、[復帰] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	 を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  [回線表示] を押して他の回線に切り替え、  を押します。 アクティブなコールはすべて保留になります。

ヒント

- 電話機は、6 本の回線まで対応しますが、電話機の画面に表示されるのは 1 本の回線だけです。他の回線を表示するには、 [回線表示] を押す必要があります。
- 電話機は回線ごとに複数のコールを処理できますが、各電話機で処理できるコールは最大 24 です。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールから、[オプション] > [転送] を選択します。 2. 転送先の電話番号をダイヤルします。 3. [オプション] > [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールから、[オプション] > [転送] を選択します。 2. 転送先の電話番号をダイヤルします。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [オプション] > [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する(直接転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. その回線上の任意のコールをスクロールして強調表示します。 2. [オプション] > [選択] を選択します。選択したコールのそばに  が表示されます。 3. その回線上のその他のコールをスクロールして強調表示します。 4. [オプション] > [D 転送] を選択します。 2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	<p>[オプション] > [即転送] を選択します。</p> <p>コールがボイス メッセージ グリーティングに自動転送されます。[即転送] は、アクティブなコール、呼び出し中のコール、保留中のコールに使用できます。</p>

ヒント



- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断して転送を完了することも、[オプション]>[転送]を選択してから切断することもできます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、[転送]を使用せずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [転送]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。転送前にコールの保留を解除するには、[復帰]を選択します。

別の電話番号へのコールの転送

システム管理者がコール転送機能を有効にしている場合、次の機能を使用して、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

- 無条件のコール転送（不在転送）: 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）: 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機またはユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線の不在転送を設定する	[オプション] > [不在] を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[オプション] > [不在] を選択します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次の 2 点が表示されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ回線の横に  アイコンが表示されている。 • ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモート操作によって、または使用している電話機のプライマリでない回線に対して、コール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。(P.105 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. コール転送オプションにアクセスします(P.114 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。





サイレントの使用

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機でサイレントとコール転送の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。

目的	必要な操作または状態の説明
サイレントをオンにする	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オプション] > [サイレント] を選択します。  を押してから、サイレント オプション ボタンを選択し、オンにします ()。 <p>電話機に「サイレントはアクティブです」と表示され、呼出音はオフになります。</p>
サイレントをオフにする	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オプション] > [サイレント] を選択します。  を押してから、サイレント オプション ボタンを選択し、オフにします ()。

サイレントの設定値をカスタマイズする	<p>サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.102 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. ドロップダウン メニューから [ユーザオプション]>[デバイス] を選択します。3. 次のオプションを設定できます。<ul style="list-style-type: none">• [サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。• [DND オプション]: [コール拒否] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。• [DND 着信呼警告] (設定された DND オプションに適用される): アラートをピープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし] を選択します (システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます)。
--------------------	--

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議の各機能の使用方法


会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**会議**] ソフトキーを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**参加**] ソフトキーを使用します。
- C 割り込み：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**C 割込**] ソフトキーを使用します。C 割り込みは共有回線を使用している電話機でのみ使用可能です。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[**ミートミー**] ソフトキーを使用します。

会議機能の使用方法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. 接続したコールから、[オプション] > [会議] を選択します。2. 参加者の電話番号を入力します。3. コールの接続を待ちます。4. [オプション] > [会議] をもう一度選択して、参加者をコールに追加します。5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。





目的	必要な操作または状態の説明
会議の参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[オプション]>[参加者]を選択します。P.57の「会議参加者の表示または削除」を参照してください。
会議への参加を終了する	 、[終了] または [オプション]>[終了]を選択します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから[会議]または[参加]を押します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開始した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

参加機能の使用手法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。


目的	必要な操作または状態の説明
単一の回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、▶  を押し、会議に含める別のコールを強調表示し、[オプション] > [選択] を選択します。 選択されたコールにアイコン  が表示されます。 アクティブなコールが自動的に選択されることに注意してください。2. 追加するコールごとにこのステップを繰り返します。3. 接続したコールから、[オプション] > [参加] を選択します。
複数の回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、[オプション] > [参加] を選択します。2. ▶  を押して、会議に含めるコールの回線を選択します。 次のどちらかになります。<ul style="list-style-type: none">- コールが結合されます。- 結合するコールを選択するよう指示されることがあります。 操作を完了するには、コールを強調表示し、[オプション] > [選択] を選択してから、[オプション] [参加] を選択します。 <p> (注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p>
会議の参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[オプション] > [参加者] を選択します。P.57 の「 会議参加者の表示または削除 」を参照してください。

ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから **[オプション]** > **[参加]** を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議」に変わります。
- **[参加]** ソフトキーまたは **[D 転送]** ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合できる場合があります。この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認してください。



C 割り込みの使用方法



C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

目的	必要な操作または状態の説明
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> ▶  を押して、共有回線のコールを選択します。 [オプション] > [C 割込] を選択します。 <p>P.66 の「共有回線の使用」を参照してください。</p>
会議の参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[オプション] > [参加者] を選択します。P.57 の「会議参加者の表示または削除」を参照してください。

ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加を行うことができます。

目的	必要な操作または状態の説明
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> システム管理者からミーティング電話番号を取得します。 参加者に番号を配布します。 会議を始める準備ができたなら、[オプション] > [ミーティング] を選択します。 ミーティング会議番号をダイヤルします。  を押します。 <p>ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。</p> <hr/> <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>







目的	必要な操作または状態の説明
ミーティングに参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミーティング番号をダイヤルします(この番号は会議の開催者から提供されます)。 2.  を押します。  <p>(注) 会議の開催者の参加より前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
ミーティングを終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアなミーティング番号にコールすると、ユーザの電話機には「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.71 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

目的	必要な操作または状態の説明
会議の参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、アクティブな会議を選択します。 2. [オプション] > [参加者] を選択します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[オプション] > [更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[オプション] > [削除] を選択します。</p> <p>参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。</p>
会議に最後に追加された参加者を削除する	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[オプション] > [ドロップ] を押します。</p> <p>参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。</p>
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	P.52 の「会議機能の使用方法」 を参照してください。
会議への参加を終了する	 、[終了]、または [オプション] > [終了] を選択します。

インターコム コールの発信と着信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。






- インターコム回線を選択し、マイクロフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコムを終了するには、[終了] ソフトキーを押します。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- インターコム回線を選択し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用できます。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールの受信または発信ができません。
- インターコム コールを保留にすることはできません。

ヒント

エクステンション モビリティ プロファイルを使用して電話機に毎日ログインする場合は、エクステンション モビリティ プロファイルがインターコム機能を含むようにシステム管理者によって設定されていることを確認してください。

目的	必要な操作または状態の説明
事前設定したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2.  (インターコム回線) を選択し、通話相手のインターコム番号をダイヤルします。 インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2.  (インターコム回線) を選択し、通話相手のインターコム番号をダイヤルします。 インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
インターコム コールを受信する	<p>インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一方向のオーディオのメッセージを聞く。 •  を押し、インターコム回線を選択し、発信者と会話する。 • [終了] を押して、コールを終了する。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル


短縮ダイヤルを使用すると、ホットキーを押したり、リストから選択したりしてコールを発信できます。電話機は設定に応じて、次のような短縮ダイヤル機能をサポートできます。


- [短縮ダイヤル ホットキー \(P.60\)](#)
- [回線表示短縮ダイヤル \(P.61\)](#)
- [固定短縮ダイヤル \(P.61\)](#)
- [ファーストダイヤル \(P.61\)](#)

短縮ダイヤル ホットキー

短縮ダイヤル ホットキーを使用すると、電話機にローカルに保存されている電話帳の連絡先番号にすばやくダイヤルすることができます。短縮ダイヤル ホットキーは、電話機から最大 99 個設定できます。コールを発信するには、短縮ダイヤル ホットキーを押し続けるか、[[ディレクトリ](#)] > [[短縮ダイヤル](#)] を選択します。


割り当てられている電話機の種類によって異なりますが、メイン電話帳画面には次の短縮ダイヤル アイコンが表示されます。

 勤務先電話

 自宅電話

 携帯電話


 他の電話

電話帳の連絡先詳細で、短縮ダイヤル ホットキーに割り当てられている電話番号の下に、短縮ダイヤル アイコン () が表示されます。

詳細については、[P.62 の「短縮ダイヤルとファースト ダイヤルの使用方法」](#) および [P.96 の「電話機での電話帳の使用方法」](#) を参照してください。

回線表示短縮ダイヤル

回線表示短縮ダイヤルを使用すると、ローカル電話帳に保存されていない電話番号にすばやくダイヤルすることができます。回線表示短縮ダイヤル番号は、ユーザ オプション Web ページから設定します。電話機には、最大 6 個の番号 (回線番号および短縮ダイヤル番号の組み合わせ) を表示できます。

コールを発信するには、[回線表示] から短縮ダイヤル () を選択します。

詳細については、[P.62 の「短縮ダイヤルとファースト ダイヤルの使用方法」](#) および [P.107 の「Web での短縮ダイヤルの設定」](#) を参照してください。

固定短縮ダイヤル

固定短縮ダイヤルを使用すると、固定短縮ダイヤル コードを使用して電話番号にダイヤルすることができます。固定短縮ダイヤルは、ユーザ オプション Web ページから設定します。

コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力して、[短縮] ソフトキーを押します。

詳細については、[P.62 の「短縮ダイヤルとファースト ダイヤルの使用方法」](#) および [P.107 の「Web での短縮ダイヤルの設定」](#) を参照してください。

ファースト ダイヤル

ファースト ダイヤルを使用すると、ファーストダイヤル リストからコールを発信できます。まずユーザ オプション Web ページからファーストダイヤル サービスに登録し、ファーストダイヤル コードを設定する必要があります。ファーストダイヤル コードは、Web 上の個人アドレス帳のエントリに割り当てることもできます。

コールを発信するには、[ファースト ダイヤル] リストからファーストダイヤル サービス オプションを選択します。










詳細については、[P.62 の「短縮ダイヤルとファースト ダイヤルの使用方法」](#)、[P.107 の「Web での短縮ダイヤルの設定」](#)、および [P.108 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」](#) を参照してください。



(注) システム管理者がユーザの代わりに短縮ダイヤル機能を設定することもできます。

短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用方法

この機能を使用する前に、電話帳から短縮ダイヤル機能を設定する（P.96の「電話機での電話帳の使用法」を参照）またはユーザ オプション Web ページで短縮ダイヤルを設定する（P.102の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照）必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤルホットキーを使用して電話帳の連絡先に発信する	<ol style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤルホットキーを [電話帳] で設定します。 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤルホットキーを約 2 秒間押し続けます。 <p> (注) 2桁の番号をダイヤルする場合は、最初の1桁を入力してから、2桁目の数字を約 2 秒間押し続けます。</p> <p>-  ([ディレクトリ]) > [短縮ダイヤル] を選択し、短縮ダイヤルを強調表示してから、 を押します。</p>
短縮ダイヤル番号を使用して別の番号（電話帳に保存されていない）にコールする	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル番号を設定します。 コールを発信するには、 を押します。 ラベルの付いた短縮ダイヤル番号へスクロールし、 を押します。 <p> (注) 回線表示には、電話番号と、その後に  で示される短縮ダイヤル番号が表示されます。6つの項目（回線と短縮ダイヤル）を表示できます。</p>
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページから固定短縮ダイヤルコードを設定します。 コールを発信するには、固定短縮ダイヤル機能コードを入力します。 [オプション] > [短縮] を選択します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルサービスに登録し、ファーストダイヤルコードを設定します。P.102の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 コールを発信するには、使用する電話機で、 > [Fast Dial Service] を選択します（名前は異なる場合があります）。 リストをスクロールし、 を押します。


自分の電話機で他の電話機の着信に応答

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。コールピックアップは、同僚とコール処理を共有している場合に使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
自分のコール ピックアップグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [ピック] を選択します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 2. 自分の電話機でコールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のコール ピックアップグループ外の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [G ピック] を選択します。 2. グループ ピックアップ番号を入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 3. コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [他 Grp] を選択します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 2. コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
特定の内線(回線番号)で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [G ピック] を選択します。 2. ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 3. コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント


- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール(呼び出し中の状態が最も長いコール)からピックアップします。
- **[G ピック]** ソフトキーを選択して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします(回線が使用可能な場合)。




- 複数の回線があり、プライマリ回線以外の回線でコールに応答する場合は、まず  [回線表示] を押してピックアップする回線に切り替え、それから [オプション] とコールピックアップのソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示(あるいはその両方)によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、P.69 の「BLF の使用による回線状態の確認」を参照してください。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機(同僚のデスクや会議室の電話機など)でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク:[パーク]ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク:[転送]ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルする使用可能なダイレクトコールパーク番号にコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクトコールパーク番号にダイヤルまたは短縮ダイヤルする必要があります。短縮ダイヤルをダイレクトコールパーク番号として使用でき、ダイレクトコールパーク番号が使用中か使用可能かを監視できます。

目的	必要な操作または状態の説明
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に [オプション] > [パーク] を押します。 2. 電話機のスクリーンに表示されたコールのパーク番号を書き留めます。 3.  を押します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。

目的	必要な操作または状態の説明
アクティブなコールをダイレクトコールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に [転送] を押します。 2. パーク未使用アイコン  が表示された短縮ダイヤル番号を選択し、ダイレクトコールパーク番号に短縮ダイヤルします。 パーク使用中アイコン  が表示された短縮ダイヤル番号は、ダイレクトコールパーク番号が使用できないことを示しています。  (注) 短縮ダイヤル番号に BLF が設定されていない場合は、ダイレクトコールパーク番号が使用可能かどうかにかかわらず、このアイコンは表示されません。 3. もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクトコールパーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィクスを入力し、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルします。

ヒント

パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ハントグループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハントグループのメンバーになっている可能性があります。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。電話機から離れているときは、ハントグループからログアウトすることによって、ハントグループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハントグループからログアウトして一時的にハントグループのコールをブロックする	[オプション] > [ハント] を選択します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
ログインしてハントグループのコールを受信する	[オプション] > [ハント] を選択します。

ヒント

ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。



共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中

「リモートで使用中」のメッセージおよび  アイコンは、回線を共有している他の電話機に接続されたコールがあり、プライバシー機能が無効になっている場合に、電話機に表示されます。「リモートで使用中」のメッセージまたは  アイコンが表示されていても、共有回線で通常どおりコールを発信したり、受信したりできます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます(例外については、「[プライバシー](#)」の項を参照)。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、[**割り込み**] または [**C 割り込**] を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加することができます。P.67 の「[割り込みの使用による共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

[割り込み]: 組み込みブリッジを有効にしている IP Phone との共有回線のコールに参加できます。

[C 割り込]: 任意の IP Phone との共有回線のコールに参加し、コールを会議に切り替えることができます。

プライバシー

無線 IP Phone では、プライバシー機能がデフォルトで有効になっています。回線を共有している同僚は、コールの情報を参照できません。回線を共有している同僚の画面に情報を表示するには、ユーザの電話機でプライバシー機能を設定する必要があります。P.68 の「[他者による共有回線のコールの表示および参加の防止](#)」を参照してください。



(注) 電話機は、1本の共有回線で最大24件のコールをサポートできます。

割り込みの使用による共有回線のコールへの参加

割り込み機能 ([C 割込] または [割り込み]) を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます (プライベート コール以外のコールである必要があります。P.66 の「共有回線について」を参照してください)。

割り込み機能について



C 割り込みと割り込み

電話機の設定によっては、[C 割込] または [割り込み] を使用して、共有回線のプライベート以外のコールに自分自身を追加できます。

- [C 割込] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます (標準の会議の詳細については、P.52 の「会議コールの使用方法」を参照してください)。
- [割り込み] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

割り込み機能の使用方法

次の表に、割り込み機能 ([C 割込] または [割り込み]) を使用して共有回線のコールに参加する方法を示します。



目的	必要な操作または状態の説明
共有回線が使用中であることを確認する	 アイコンおよび「リモートで使用中」のメッセージが表示されているかどうかを確認します。
共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートで使用中のコールを強調表示します。場合によっては、回線表示を使用する必要があります。 2. [オプション] > [割り込み] または [C 割込] を選択します。
会議の参加者を表示する	P.57 の「会議参加者の表示または削除」を参照してください。
割り込んだコールから離脱する	<p>[終了] または  を選択します。</p> <p>割り込み機能を使用した後、コールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールは続行します。</p> <p>C 割り込み機能を使用した後、コールを切断すると、3 名以上の参加者が回線に残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるピープ音が鳴ります。[C 割込] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- [割込み] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および参加の防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。











目的	必要な操作または状態の説明
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none">1. [オプション] > [非通知] を選択します。2. プライバシー機能が有効であることを確認するには、電話番号の横に  (プライバシー機能有効アイコン) が表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [オプション] > [非通知] を選択します。2. プライバシー機能が無効であることを確認するには、電話番号の横に  (プライバシー機能無効アイコン) が表示されていることを確認します。



ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

BLF の使用による回線状態の確認

Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を使用すると、電話機の短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリ リストに関連付けられた電話回線の状態を確認することができます。BLF ピックアップを使用すると、監視対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どの BLF 機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にあるインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <p> 回線は使用中です。</p> <p> 回線はアイドルの状態です。</p> <p> 回線はサイレント状態です。</p> <p> 回線は呼び出し中の状態です。</p> <p> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</p>
短縮ダイヤル回線に表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にあるインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <p> 回線は使用中です。</p> <p> 回線はアイドルの状態です。</p> <p> 回線はサイレント状態です。</p> <p> 回線は呼び出し中の状態です (BLF ピックアップのみ)</p> <p> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
BLF ピックアップを使用して、同僚の電話機で呼び出し中のコールに応答する	<p>呼び出し中の回線を強調表示して、 ([選択] ボタン) を押します。</p> <p>コールは使用している電話機にリダイレクトされます。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。サポートしていない場合、ユーザが自分でコールに応答するようにユーザ自身の電話機が鳴ります。</p> <hr/> <p> (注) 監視対象の回線が呼び出し中でないときに、[オプション] > [ピック] または [G ピック] を選択すると、電話機はその回線番号に短縮ダイヤルします。</p>

ヒント



- 監視対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオ インジケータを再生して通知できる場合があります (BLF ピックアップのみ)
- BLF ピックアップは、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します (監視対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合)

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次の種類のコールがサポートされています。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機は、Cisco IP ネットワーク内で暗号化されたオーディオ（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **保護されたコール**：電話機は、暗号化されたオーディオ（会話）を別の電話機との間で送受信しています。保護されたコールは、暗号化されたコールと同等のセキュリティを確保できるだけでなく、より高度なセキュリティも実現します。コールが両端で保護されている場合、会話の最初にセキュリティ トーンが再生されます。保護されたコールが設定された場合、会議コール、共有回線、エクステンション モビリティ、および回線をまたいで参加など一部の機能が使用できません。保護されたコールは認証を受けていません。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機が検証できません。

目的	必要な操作または状態の説明
<p>コールのセキュリティ レベルを確認する</p>	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <p> 認証されたコールまたは会議</p> <p> 暗号化されたコールまたは会議</p> <p>コールがノンセキュアの場合は、いずれのセキュリティ アイコンも表示されません。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
接続の相手側の電話機も安全であることを確認する	暗号化を示す鍵のマークのアイコンが表示されていること、およびコールの最初にセキュリティ トーンが聞こえることを確認します。 電話機に暗号化されたコールが設定されると、鍵のマークのアイコンが表示されます。ただし、会話が保護されるのは、セキュリティ トーンがコールの最初に再生される場合だけです。セキュリティ トーンの再生は、コールの両端が保護されていることを示します。保護されていない電話機に接続するコールでは、セキュリティ トーンは再生されません。
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。





目的	必要な操作または状態の説明
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[オプション] > [迷惑呼] を選択します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。



目的または状態	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。
コールのプライオリティ レベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。  プライオリティ コール  中程度のプライオリティの (即時) コール  プライオリティの高い (フラッシュ) コール  プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機音が鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント機能が無効になります。

Cisco エクステンション モビリティの使用法


Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ◀  ▶ [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ユーザ ID および PIN (システム管理者より提供されたもの) を入力します。3. 指示がある場合、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1. ◀  ▶ [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトの指示があったら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者によって設定されます。
- ユーザ オプション Web ページから EM プロファイルに対して行った変更は、次回、電話機の EM にログインしたときに有効になります。
- 電話機だけで制御されている設定は、EM プロファイルには保存されません。

アプリケーション ボタンの使用方法

アプリケーション ボタン  (電話機の左側) を使用すると、電話機で Push to Talk などのアプリケーションや他のサービスを開始できます。





システム管理者がアプリケーション ボタンをどのように設定するかによって、メイン電話スクリーンから使用したり、メニューまたはサービスから使用したり、電話機がロックされているときでも使用したりすることができます。

アプリケーション ボタンは、ボタンを押してすぐにアプリケーションを開始したり、数秒待機した後で開始したりするように設定できます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。










Push to Talk サービスの使用方法












Push to Talk サービスを使用すると、組織のメンバーとすぐに連絡をとることができます (双方向ラジオと類似)。システム管理者は XML アプリケーションを使用して Push to Talk サービスを設定し、ユーザはこのサービスに登録する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
Push to Talk サービスにアクセスする	<p>Cisco Unified CallManager 4.1 以降を使用しているシステムの場合は、P.103 の「IP Phone サービスへの登録」を参照してください。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager 5.0 以降を使用しているシステムの場合は、P.111 の「Web での電話機サービスの設定」を参照してください。</p>
Push to Talk サービスを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="342 1047 1270 1144">  [Push to Talk] を選択します (名前は異なる場合があります)。  アイコンが表示されれば、Push to Talk サービスはアクティブになっています。 <li data-bbox="342 1161 1270 1258"> サービスの設定内容によって異なりますが、 ボタンを使用して送信を開始したり終了したりします。[Talk] ソフトキーと [停止] ソフトキーを使用して送信と受信を切り替えることもできます。 <p> (注) Push to Talk サービスの使用方法の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機は、モバイルハンドセットやスピーカフォンとして使用したり、ヘッドセットやデスクトップチャージャーのスピーカフォンとともに使用したりできます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	 を押します。切断するには、  を押します。
有線ヘッドセットを使用する	<p>ヘッドセット コネクタをヘッドセット ポートに接続します。 アイコンが電話機のステータス行に表示されます。通常どおりコールを発信および応答します。</p> <p>自動応答を使用する場合は、例外については、P.79 の「自動応答の使用」を参照してください。</p> <p>ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。</p> <p>ヘッドセットが電話機に接続されているとき、ヘッドセットのオーディオはアクティブなままです。</p>
スピーカ モードを使用する	<p> アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。</p> <hr/> <p> (注) コールを発信する前かコール中にスピーカフォンをアクティブにできます。スピーカ モードは、以降のコールのため、オフに切り替えるまでアクティブなままになります。</p> <hr/> <p> (注) 電話機がデスクトップ チャージャーに接続されていたり、有線ヘッドセットに接続されているときにも、スピーカフォンをアクティブにすることができます。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
<p>コール中に（ハンドセットから）スピーカフォンに切り替える</p>	<p> アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。</p> <p> を押し続け、再びハンドセットへ切り替えます。</p>
<p>デスクトップチャージャーのスピーカフォンへ切り替える</p>	<ol style="list-style-type: none"> 無線 IP Phone をデスクトップチャージャーの受け台に置きます。画面に「AC が接続されました」と表示されます。 電話機の上部を押し下げます。画面に「ドッキングが接続されました」と表示され、電話機のステータス行に  アイコンが表示されます。デスクトップチャージャーのスピーカとマイクロフォンが接続されます。 コールを送受信します。 <p> や  など、電話機のすべてのボタンを使用します。電話機がデスクトップチャージャーにあるときは、ヘッドセットを使用してコールに応答できます。</p> <p> (注) 電話機の左下に、内蔵型単方向マイクロフォンがあります（2つの小さい穴）。最適な結果を得るため、スピーカフォンを使用するときは、デスクトップチャージャーを自分の正面に置いてください。</p>
<p>デスクトップチャージャーのスピーカフォンからハンドセットに切り替える</p>	<ol style="list-style-type: none"> 電話機の上部を持ち、手前に引いて、デスクトップチャージャーから取り上げます。 ハンドセットを使用してコールを続けます。デスクトップチャージャーのスピーカとマイクロフォンが切断されます。 <p> (注)  ボタンを使用してデスクトップのスピーカをオフにすることはできません。</p>
<p>コールの音量レベルを調節する</p>	<p>コール中に  を押して、ハンドセット、スピーカ、ヘッドセットまたはデスクトップチャージャーの音量を調整します。</p> <p> (注) 電話機がオフになった後、以降のコールのため、この新規音量レベルが維持されます。</p>

ヒント



ヘッドセットのコードを抜くか、デスクトップチャージャーから電話機を取り外した場合、自動応答やインターコムコールなどの着信コールでスピーカフォンを使用する通常の機能のスピーカモードに戻ります。

ヘッドセットの購入

電話機は、2.5 mm の 3-band/ 4 コネクタを持つ有線ヘッドセットジャックタイプをサポートしています。ヘッドセットの購入については、[P.18](#) の「[ヘッドセットについて](#)」を参照してください。

自動応答の使用

大量の着信コールを受ける場合、または他人のコールを処理する場合は、自動応答を使用すると便利です。システム管理者は、スピーカモードまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。







目的または状態	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コール中以外もヘッドセットを電話機に接続しておくこと、ヘッドセットモードがアクティブなまま維持されます。</p> <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されていると、有線ヘッドセット  アイコンが電話機のステータス行に表示されている場合に限り、コールが自動的に応答されます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
デスクトップチャージャーのスピーカで自動応答を使用する	<p>デスクトップチャージャーの受け台にハンドセットを置いておくことによって、スピーカがアクティブになります。</p> <p>電話機がスピーカモードで自動応答を使用するように設定されていると、デスクトップチャージャーのスピーカを使用してコールが自動的に応答されます。</p> <p> (注) デスクトップチャージャーのスピーカをオフにすることはできません。デスクトップチャージャーのスピーカを無効にするには、電話機を受け台から取り外す必要があります。</p>





電話機の設定の変更

音の設定、音量レベル、表示オプション、およびキーパッド設定を調整して、無線 IP Phone を個人設定できます。[設定]メニューから[ネットワーク プロファイル]を表示することもできます。


呼び出しのカスタマイズ

各回線の呼び出しタイプを選択することによって、電話機をカスタマイズできます。

目的	必要な操作または状態の説明
回線の呼出音設定を表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。2. [呼出音] > [現在の設定] を選択します。3. [表示] を押して、現在の回線設定を確認します。
回線の呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。2. [呼出音] > [現在の設定] を選択します。3. [表示] を押して、現在の回線設定を確認します。4. 回線を選択します。 <p> (注) 回線を選択するには、項目の番号キー、 ボタン、または [変更] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">5. リストの呼出音にスクロールして [再生] を押すと、呼出音のサンプルが再生されます。6. 選択した呼出音の横に  および  アイコンが表示されます。7. [オプション] > [保存] を選択して変更するか、または [オプション] > [キャンセル] を選択します。







目的	必要な操作または状態の説明
呼出音を回線に割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。 2. [呼出音] > [使用可能な呼出音] を選択します。 3. リストの呼出音にスクロールして [再生] を押すと、呼出音のサンプルが再生されます。 4. [オプション] > [適用] を選択して、呼出音の回線を選択します。選択した回線の横に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 5. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
電話機が鳴る方法を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [サウンド設定] > [アラートパターン] を選択します。 2. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 呼出音のみ • バイブレータのみ • マナー • バイブレータ、呼出音 • バイブレータと呼出音 選択した項目の横に  が表示されます。 3. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) この変更はハンドセットのみに適用され、デスクトップチャージャーには適用されません。</p>




ヒント

- ユーザ オプション Web ページから無線 IP Phone の呼出音設定を変更することはできません。
- [設定] メニューに戻るには、変更を保存してから [戻る] を押すか、 を押してメイン画面に戻ります。

音量設定のカスタマイズ





電話機の呼出音およびスピーカ音量を調整できます。






目的	必要な操作または状態の説明
呼出音の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。2. [呼出音] を選択します。 <p> (注) 呼出音を選択するには、項目の番号キー、● ボタン、または [変更] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">3. ▲ を押して音量を上げるか、▼ を押して音量を下げ、サンプルの呼出音音量を聞きます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
スピーカの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。2. [スピーカ] を選択します。3. ▲ を押して音量を上げるか、▼ を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
電話機の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。2. [ハンドセット] を選択します。3. ▲ を押して音量を上げるか、▼ を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
ヘッドセットの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。2. [ヘッドセット] を選択します。3. ▲ を押して音量を上げるか、▼ を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
デスクトップチャージャーのスピーカの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。2. [ドッキングスピーカ] を選択します。3. ▲ を押して音量を上げるか、▼ を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。

目的	必要な操作または状態の説明
デスクトップチャージャーの呼出音の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。 2. [ドッキング呼出音] を選択します。 3. ▲を押して音量を上げるか、▼を押して音量を下げ、サンプルの呼出音音量を聞きます。 4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
呼出音を鳴らすデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。 2. [呼出音出力] を選択します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセット • スピーカ (デフォルト設定) • ヘッドセットとスピーカ 選択した項目の横に  が表示されます。 4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。

電話スクリーンのカスタマイズ

左ソフトキーをカスタマイズして(電話機がアイドル状態の場合)、電話スクリーンの表示の明るさや、電話スクリーン上の言語を変更できます。

目的	必要な操作または状態の説明
電話帳を開くように左ソフトキーを設定する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [ホームページのカスタマイズ] を選択します。2. [変更] を押します。3. [電話帳] を選択します。4. [保存] を押します。電話機がアイドル状態のとき、左ソフトキーは「電話帳」と表示されます。
メッセージにアクセスするように左ソフトキーを設定する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [ホームページのカスタマイズ] を選択します。2. [変更] を押します。3. [メッセージ] を選択します。4. [保存] を押します。電話機がアイドル状態のとき、左ソフトキーは「メッセージ」と表示されます。
電話機の画面の明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。2. [画面の明るさ] を強調表示してから、 または [変更] を押します。3. ▲ を押して明るさを上げるか、▼ を押して明るさを下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。

目的	必要な操作または状態の説明
画面が表示される時間を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。 2. [画面のタイムアウト] を強調表示してから、 または [変更] を押します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 10 秒 • 30 秒 (デフォルト設定) • 1 分 • 2 分 4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) 画面の設定時間が過ぎると、画面は 10 秒間薄暗くってから、完全に暗くなります。</p>
サービスが及ぶ範囲を知らせる LED 表示を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。 2. [LED カバレッジインジケータ] を強調表示してから、 または [変更] を押します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効 (デフォルト設定) • 無効 4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。(P.102 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. 言語の設定を変更します。





キーボード設定の変更

キーボードを設定して、自動ロック、トーンの再生、コールへの応答を実行することができます。詳細については、次の項を参照してください。

- 任意のキーを使用して電話機に応答する (P.86)
- キーボードの自動ロック設定 (P.87)
- キーボードトーンの変更 (P.88)







任意のキーを使用して電話機に応答する

任意のキーを使用してコールに応答できるように電話機を設定することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
任意のキーを押してコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [キーボード設定] を選択します。2. [どのキーでも応答] を選択します。3. [有効] を選択します。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) [どのキーでも応答] オプションの下に、[有効] と表示されます。</p>
[どのキーでも応答] オプションを無効にする	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [キーボード設定] を選択します。2. [どのキーでも応答] を選択します。3. [無効] を選択します。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) [どのキーでも応答] オプションの下に、[無効] と表示されます。</p>

キーパッドの自動ロック設定

誤ってキーを押したりコールをリダイヤルしたりするのを防止するには、キーパッド自動ロック機能を使用します。コールの完了後、どのくらいの時間が経過したら電話機がキーパッドを自動的にロックするかを設定できます。



目的	必要な操作または状態の説明
電話機の使用後にキーパッドを自動的にロックする	<ol style="list-style-type: none"> ▼  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。 [キーパッドの自動ロック] を選択します。 次の時間間隔のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 15 秒 30 秒 60 秒 [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) 選択した時間間隔が過ぎると、 アイコンが表示され、キーパッドがロックされます。</p>
キーパッドのロックを解除する	<ol style="list-style-type: none"> 任意のキーを押すと、画面に「キーパッドをロック解除しますか?」と表示されます。 [解除] を押してから、[OK] を押します。 <p> (注) 表示されるとすぐに、[解除] と [OK] ソフトキーを押す必要があります。すぐに押さないと、キーパッドはロックされたままです。</p>
自動キーパッド ロックをオフにする	<ol style="list-style-type: none"> ▼  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。 [キーパッドの自動ロック] を選択します。 [無効] を選択します。 [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) [キーパッドの自動ロック] オプションの下に、[無効] と表示されます。</p>

ヒント

- 自動ロック機能は、電話機がアイドル状態で、メイン画面が表示されている場合にのみ有効になります。
- 着信コールを受けると、キーパッドのロックは一時的に使用できなくなります。

キーパッド トーンの変更

キーパッドのキーを押したときのトーンを有効または無効にできます。

キーパッド トーン レベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定] > [キーパッド設定] を選択します。2. [キーパッドトーン] を選択します。3. 次のいずれかを選択します。<ul style="list-style-type: none">• 無効：キーパッド トーンは再生されません。• 通常：キーを押すとトーンが再生されます。• 大きく：キーを押すとトーンが大きく再生されます。 選択した項目の横に  アイコンが表示されます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
--------------------	---




ネットワーク プロファイル リストの表示

ネットワーク プロファイルは、無線ネットワークへのアクセス、およびシステムにおける認証と暗号化についての事前定義された設定を提供します。システム管理者がネットワーク プロファイルを定義します。複数のネットワーク プロファイルを利用できるため、異なる SSID または認証タイプを使用する場所で無線ネットワーク設定にアクセス可能です。


電話機では、4 つまでのネットワーク プロファイルを有効にできます。電話機は、自動的にプロファイルのスキャンし、その特定の無線ネットワークに一致する SSID および設定を持つネットワーク プロファイルを選択します。



(注) 追加のネットワーク プロファイルが必要かどうか、またはプロファイルの設定を変更する必要があるかどうかについては、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明
有効なネットワーク プロファイルのリストを表示する	<p>▼  > [ネットワークプロファイル] を選択します。</p> <p>有効なネットワークの横に  が表示されます。</p> <p> (注) ネットワーク プロファイルはロックされているので、システム管理者に変更してもらう必要があります。</p>

ヒント







-  ロック アイコンがメニューの横に表示されている場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- EAP または LEAP ユーザ名とパスワードを変更する必要がある場合は、P.16 の「[ユーザ名とパスワードの設定](#)」を参照して、システム管理者に問い合わせてください。



履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、[ディレクトリ]メニューの履歴とディレクトリの使用方法について説明します。

履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が記録されています。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	<ol style="list-style-type: none">1. ▲  を押します。2. [不在履歴]、[着信履歴]、または[発信履歴]を選択します。履歴にはそれぞれ最大100件のレコードを保存できます。
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. ▲  を押します。2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。3. 電話番号にスクロールします。 <p> (注) 表示された番号を編集する(プレフィクスの追加や削除など)には、[オプション]>[編集]を選択し、次に◀または▶を選択してカーソルの位置を変更します。キーパッドを使用して数字を入力するか、<< を押して番号を削除します。</p> <ol style="list-style-type: none">4. [ダイヤル] または  を押します。
1つのコールレコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none">1. ▲  を押します。2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。3. コールレコードを強調表示します。4. [詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報(発信履歴と着信履歴の場合のみ)が表示されます。
1つのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. ▲  を押します。2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。3. コールのレコードにスクロールします。4. [オプション]>[削除]を選択するか、[オプション]>[終了]を選択します。

目的	必要な操作または状態の説明
1つの履歴からすべてのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  を押します。 2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 3. [オプション]>[削除]を選択するか、[オプション]>[終了]を選択します。
すべての履歴からすべてのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  を押して、履歴を表示します。 2. [クリア]を押します。それによってすべての履歴を消去するか、[オプション]>[終了]を選択します。
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する	<p>ビジーランプフィールドのインジケータを確認します。P.69の「BLFの使用による回線状態の確認」を参照してください。</p>

ヒント

- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- マルチパーティコール（転送されてきたコールなど）の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細]を選択します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティコールごとに2つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。
 - 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
 - 2番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。






ディレクトリ ダイヤリング

設定によっては、自分の電話機から、社内ディレクトリおよびパーソナルディレクトリ機能にアクセスできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリは、システム管理者が設定し、保守します。
- パーソナルディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機およびユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤルコードです。パーソナルディレクトリは、個人アドレス帳（PAB）とファーストダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファーストダイヤルでは、PAB エントリにコードを割り当てて、すばやくダイヤルすることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリロゴからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none"> > [ディレクトリサービス] > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力します。 または [オプション] > [送信] を押します。リストをスクロールします。 <p> （注） 表示された番号を編集する（プレフィクスの追加や削除など）には、[オプション] > [編集] を選択し、次に  または  を選択してカーソルの位置を変更します。キーパッドを使用して数字を入力するか、<< を押して番号を削除します。</p>
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	ビジーランプフィールドのインジケータを確認します。P.69 の「 BLF の使用による回線状態の確認 」を参照してください。

ヒント

- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。P.17の「テキストの入力と編集」を参照してください。
- 電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法

パーソナル ディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイアルが含まれています。




Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降

Cisco Unified CallManager 4.3 以降のシステムに接続している場合のパーソナル ディレクトリの設定方法と使用方法については、『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。








http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降

この項では、Cisco Unified Communications Manager 5.1 以降に接続している場合の電話機のパーソナル ディレクトリの設定方法と使用方法を説明します。代わりに、P.108の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照することもできます。

目的	必要な操作または状態の説明
パーソナル ディレクトリにアクセスする (PAB およびファースト ダイアル コードを使用する場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ディレクトリ サービス] > [Personal Address Book (PAB) Service] (名前は異なる場合があります) を選択します。 2. Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力して、[オプション] > [送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [個人アドレス帳] にアクセスします。 2. 検索条件を入力し、[オプション] > [送信] を選択します。 <p> (注) PAB エントリの完全なリストを入手するには、検索条件を入力せずに、[オプション] > [送信] を選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. [オプション] [前へ] または [次へ] を選択してリスト内を移動できます。 4. 目的の PAB リストをスクロールして、[選択] または  を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択] または ● を押します。 3. [ダイヤル] を押します。 4. ダイヤルする番号にスクロールして、[OK] を押します。 5. もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択] または ● を押します。 3. [オプション] > [削除] を選択します。 4. [OK] を押して削除を確認するか、またはキャンセルします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択] または ● を押します。 3. [オプション] > [編集] を押して、名前またはメール アドレスを修正します。 4. 必要に応じて、[オプション] [電話] を選択して、電話番号を修正します。 5. [更新] を押します。
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [個人アドレス帳] にアクセスします。 2. [オプション] > [送信] を選択して、[検索] ページにアクセスします (最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [オプション] > [新規] を選択します。 4. キーパッドを使用して名前またはニックネームを入力します。 5. [電話] を押し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード (9 または 1 など) を必ず含めます。 6. [送信] を押して、データベースにエントリを追加します。
ファースト ダイヤル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択] または ● を押します。 3. [オプション] > [ファーストダイヤル] を選択します。 4. 番号に割り当てるファースト ダイヤル コードにスクロールして、[選択] または ● を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
新規ファーストダイヤルコードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [個人アドレス帳] を選択します。 2. [個人ファーストダイヤル] を選択します。 3. 割り当てられていないファーストダイヤルコードにスクロールして、[選択] または  を押します。 4. [割り当て] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新] を押します。
ファーストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. [オプション] [前へ] または [次へ] を選択してリスト内を移動できます。 3. 目的のリストをスクロールして、[選択] または  を押します。
ファーストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリストをスクロールして、[選択] または  を押します。 3. [ダイヤル] を押します。 4. [OK] を選択して、操作を完了します。
ファーストダイヤルコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリストをスクロールして、[選択] または  を押します。 3. [オプション] > [削除] を選択します。
パーソナルディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [個人アドレス帳] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID と PIN を提供できます。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機での電話帳の使用方法








最大 100 件の連絡先の情報（勤務先電話番号、携帯番号、会社名など）を、電話機の電話帳に保存できます。


























(注) 電話帳を開くように左ソフトキーをカスタマイズすることができます。カスタマイズすると、左ソフトキーは[電話帳]と表示されます。詳細については、P.84 の「電話スクリーンのカスタマイズ」を参照してください。







(注) 連絡先が Microsoft Outlook や Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 などの連絡先のように XML または CSV 形式を使用して保存されている場合、システム管理者は電話帳に最大 100 件の連絡先をインポートすることができます。


目的	必要な操作または状態の説明
電話帳に連絡先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[新規] を押します（電話帳が空の場合）。[オプション] > [新規] を選択します（電話帳が空でない場合）。[新規連絡先] 画面で、連絡先情報を入力します。入力が終わったら [オプション] を押し、[保存] を選択して入力した情報を保存するか、[キャンセル] を押します。
連絡先のプライマリ番号を割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。連絡先の名前を強調表示し、[オプション] > [詳細] を選択します。 勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話のいずれかの番号を選択し、[オプション] > [プライマリ] を選択します。 <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) が番号の横に表示されます。 <p></p> <p>(注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は、勤務先番号です。プライマリ番号には、任意の番号を割り当てることができます。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
連絡先の名前または会社名の変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、 を押して詳細を表示します。 [オプション] > [詳細] を選択することもできます。 3. 情報フィールドを選択し、[変更] を押します。 4. 変更内容を入力します。入力が終わったら [オプション] を押し、[保存] を選択して入力した情報を保存するか、[キャンセル] を押します。
連絡先の電話番号を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、 を押して詳細を表示します。 [オプション] > [詳細] を選択することもできます。 3.  勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話のいずれかの番号を選択し、[オプション] > [変更] を選択します。 4. 変更内容を入力します。入力が終わったら [オプション] を押し、[保存] を選択して入力した情報を保存するか、[キャンセル] を押します。
電話帳の連絡先を検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. [オプション] > [モード] を選択し、検索するテキストを入力します。名、姓、ニックネーム、および会社名を検索できます。 <p> (注) 検索テキストを入力するには、目的の文字または数字が表示されるまでキーを 1 回または複数回押す方法と、1 つまたは複数のキーを押した後、一致する可能性のある候補を自動的に表示させる方法（予測テキスト）のいずれかを使用できます。</p> <p>検索するテキストの入力方法を変更するには、もう一度 [オプション] > [モード] を選択します。</p>
電話帳から連絡先を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、[オプション] > [削除] を選択します。 連絡先が削除され、この連絡先の短縮ダイヤルは未定義になります。

目的	必要な操作または状態の説明
連絡先のプライマリ番号にダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示します。この連絡先のプライマリ番号が左下に表示されます。この番号にダイヤルするには、 を押すか、[オプション] > [ダイヤル] を押します。 <p> (注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は、勤務先番号です。この連絡先のプライマリ番号を、任意の番号に変更できます。</p>
連絡先の任意の電話番号にダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. 連絡先名を強調表示し、次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - ダイヤルする電話番号（ 勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話）のアイコンが表示されるまで、左または右にスクロールします。 - [オプション] > [詳細] を選択し、電話番号を強調表示し、 または [オプション] > [ダイヤル] を押します。
電話帳からすべてのエントリーをクリアする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を押します。 2. [オプション] を押し、[すべて削除] を選択します。
履歴またはディレクトリから新しい電話帳の連絡先に電話番号をコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 2. 電話番号にスクロールし、[オプション] > [保存] > [新規連絡先] を選択します。[連絡先の保存] 画面が表示されます。 3. 名、姓、ニックネーム、会社名の情報を入力します。 4. 入力が終わったら、[オプション] > [保存] を選択し、番号を保存する電話のタイプを選択します。
履歴またはディレクトリから既存の電話帳の連絡先に電話番号をコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 2. 電話番号にスクロールし、[オプション] > [保存] > [既存連絡先の使用] を選択します。 3. 電話帳の連絡先リストで、名前を強調表示します。 4. 番号を保存する電話のタイプを選択します。

目的	必要な操作または状態の説明
電話帳の連絡先番号に短縮ダイヤルを割り当てる（[短縮ダイヤル]画面から）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  > [短縮ダイヤル] を選択します。 2. 未定義の短縮ダイヤルを強調表示し、[割り当て] を押します。電話帳の連絡先リストが表示されます。 3. 名前を強調表示します。プライマリ番号を選択するか、左または右にスクロールして別の番号を選択し、[選択] を押します。選択した番号が短縮ダイヤルに割り当てられます。 <p> (注) 短縮ダイヤル 1 は、常にボイスメールに割り当てられます。この短縮ダイヤルは、削除したり再割り当てしたりすることはできません。</p> <p> (注) 短縮ダイヤル コールを発信する場合は、P.39 の「コールの発信：その他のオプション」を参照してください。</p>
電話帳の連絡先番号に短縮ダイヤルを割り当てる（メイン電話スクリーンから）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未定義の短縮ダイヤル番号を約 2 秒間押し続けてから、[Yes] を押します。電話帳のメイン画面が表示されます。 2. 連絡先を強調表示し、[選択] を押して短縮ダイヤルをプライマリ番号に割り当てます。
短縮ダイヤルを割り当て解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  > [短縮ダイヤル] を選択します。 2. 割り当てられている短縮ダイヤルを強調表示し、[削除] を押します。 3. [Yes] を押して確認するか、[No] を押してキャンセルします。

ヒント




- 連絡先番号に短縮ダイヤルを割り当てると、短縮ダイヤル アイコン  と番号が、連絡先詳細の電話番号の下に表示されます。
- 電話帳に最大 100 件の連絡先を保存することができますが、短縮ダイヤル 1 がボイスメール用に予約されているため、短縮ダイヤルは 99 件しか割り当てることができません。
- 連絡先が別の場所（たとえば、Microsoft Outlook または Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 など）に保存されている場合、ファイルを電話帳にインポートできるかどうかは、システム管理者にお問い合わせください。



ボイス メッセージへのアクセス

電話機に「ボイスメールを受信しました」と表示されているときや赤色のライトが点滅しているときは、電話機からメッセージにアクセスできます。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されま
す。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	<ol style="list-style-type: none">1. [メッセージ] を押すか、 を押し続けます。2. 音声ガイダンスに従います。 <p> (注) メイン電話スクリーンの左ソフトキーを [電話帳] に変更すると、[メッセージ] ソフトキーは使用できなくなります。詳細については、P.84 の「電話スクリーンのカスタマイズ」を参照してください。</p>
新しいボイス メッセージの着信を調べる	電話機で次のインジケータを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• 点滅する赤色のライト• 「ボイスメールを受信しました」というテキスト メッセージ• [回線表示] で電話番号の横に表示される点滅するメッセージ受信アイコン 

目的	必要な操作または状態の説明
ボイスメッセージを聞く、またはボイスメッセージシステムメニューにアクセスする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メッセージ] を押すか、 を押し続けます。 2. ボイスメッセージのパスワードを入力します。 3. 音声の指示に従ってメッセージを聞きます。 <p> (注) メイン電話スクリーンの左ソフトキーを [電話帳] に変更すると、[メッセージ] ソフトキーは使用できなくなります。詳細については、P.84 の「電話スクリーンのカスタマイズ」を参照してください。</p>
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	<p>[即転送] を押します。</p> <p>コール（呼び出し中や保留中のものも含む）がボイスメッセージシステムに自動転送されます。発信者はボイスメッセージの内容を聞いて、メッセージを残すことができます。</p>

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

無線 IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、無線 IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。この項では、次の情報を記載します。

- [Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ \(P.102\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ \(P.105\)](#)

Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ

この項では、Cisco Unified CallManager 4.3 以降のシステムに接続している場合にユーザ オプション Web ページにアクセスする方法と IP Phone サービスに登録する方法を説明します。設定可能な機能と、登録可能な IP Phone サービスの詳細については、『*Web で Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.htm

詳細については、次の項を参照してください。

- [ユーザ オプション Web ページへのログイン \(P.103\)](#)
- [IP Phone サービスへの登録 \(P.103\)](#)

ユーザ オプション Web ページへのログイン

この項では、Cisco Unified CallManager Release 4.1 以降のユーザ オプション Web ページでログインする方法と電話機デバイスを選択する方法を説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。Cisco Unified CallManager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイスタイプ（電話機のモデル）を選択します。コンテキスト メニューが無線 IP Phone に適切なオプションとともに表示されます。 2. 無線 IP Phone のオプションに変更を加えます。

ユーザ オプション Web ページのナビゲートに関するヒント

- 該当するオプションをすべて表示するには、メニュー ページでデバイスを選択します。
- 変更内容を適用して保存するには、[**更新**] をクリックします。
- コンテキスト メニューに戻るには、[**メニューに戻る**] をクリックします。
- ユーザ ページを終了するには、[**ログオフ**] をクリックします。


IP Phone サービスへの登録

電話機から登録 IP Phone サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、IP Phone サービスに登録する必要があります。[P.105 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」](#)を参照してください。

IP Phone サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話機の機能（個人ファースト ダイヤル サービス、個人アドレス帳など）

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインしてデバイス タイプを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none">1. メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。2. [使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。3. 指示に従って情報 (郵便番号や PIN など) を入力します。4. [登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	<ol style="list-style-type: none">1. メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。2. [登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。3. 登録内容を変更して [更新] をクリック、または [登録解除] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	<ol style="list-style-type: none">1. ◀  [サービス] > (サービス名) を選択します。2. 必要なサービスを選択します。
IP Phone サービスの使用方法を確認する	<p>『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。</p> <p>http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html</p>

Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ

この項では、Cisco Unified Communications Manager 5.1 以降のシステムに接続している場合にユーザ オプション Web ページにアクセスする方法と IP Phone サービスに登録する方法を説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス、機能の設定、IP Phone サービスへの登録の詳細については、次の項を参照してください。

- [ユーザ オプション Web ページへのアクセス \(P.105\)](#)
- [Web での機能およびサービスの設定 \(P.106\)](#)

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページでログインする方法と電話機デバイスを選択する方法を説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 3. セキュリティ設定を受け入れるプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 <p>Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページから [ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファースト ダイアルにアクセスできます。</p> <p>電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)。</p>
ログイン後にデバイスを 選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 [デバイス設定] ページが表示されます。 2. 複数のデバイスが割り当てられている場合は、該当するデバイス (電話機のモデルまたはエクステンション モビリティ プロファイル) が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前] ドロップダウンメニューから別のデバイスを選択します。

目的	必要な操作
ユーザ機能を設定する	<p>[ユーザオプション] ドロップダウン ボタンを選択して、次の機能にアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ設定 • ディレクトリ • 個人アドレス帳 • ファーストダイヤル
電話設定を設定する	<p>ツールバー ボタンを選択して、次の電話機特有のオプションにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 回線設定 • 短縮ダイヤル • IP Phone サービス • サービス URL
[デバイス設定] ページに戻る	<p>任意のページから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択し、正しいデバイスを設定していることを確認するか、またはデバイスを変更します。</p>

ヒント

[**デバイス設定**] ページから、電話機で使用可能な設定オプションすべてにアクセスできます（他のページでは、すべてのオプションにアクセスできない場合があります）。

Web での機能およびサービスの設定

ログイン後、ユーザ オプション Web ページで機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、[P.105 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」](#)を参照してください。

- [Web での短縮ダイヤルの設定 \(P.107\)](#)
- [Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法 \(P.108\)](#)
- [Web での電話機サービスの設定 \(P.111\)](#)
- [Web でのユーザ設定の制御 \(P.113\)](#)
- [Web での回線設定の制御 \(P.114\)](#)
- [Cisco WebDialer の使用 \(P.115\)](#)




Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機はいくつかの短縮ダイヤル機能をサポートできます。これらの短縮ダイヤル機能は、Web から設定します。

- 回線表示短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.60 の「短縮ダイヤル」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線表示の短縮ダイヤル番号を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。 2. [短縮ダイヤル] をクリックします。 3. ダイヤルする場合と同じように、電話番号を入力します。 4. 短縮ダイヤル番号のラベルを 11 字以下で入力します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 回線表示で短縮ダイヤルを設定してある場合は、短縮ダイヤル ラベルが  アイコンの横に表示されます。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。 2. [短縮ダイヤル] をクリックします。 3. ダイヤルする場合と同じように、電話番号を入力し、固定短縮ダイヤル コードのラベルを入力します。 4. [保存] をクリックします。 <p> (注) 固定短縮ダイヤル コードの番号をメモしておきます。このコードを [オプション] > [短縮] で使用して、短縮ダイヤル番号にアクセスします。</p>
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.109 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>ファーストダイヤルは、電話機からも設定できます。P.93 の「電話機でのパーソナルディレクトリ使用方法」を参照してください。</p>

ヒント

- 最大 6 個の番号（回線と短縮ダイヤル番号の組み合わせ）を回線表示スクリーンに表示できます。
- 短縮ダイヤル ラベルが 11 字より多い場合、ラベルを短くしてください。ラベルは左側から省略されます。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。


- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- アドレス帳同期化ツール (TABSynch)



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。P.93 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後の操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規追加] をクリックします。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。 <p> (注) すべてのエントリを検出するには、検索情報を空白にして、[検索] をクリックします。</p>

目的	ログイン後の操作
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. 必要に応じてエントリを編集して、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファースト ダイアルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファースト ダイアルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後の操作
ファースト ダイアルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。P.108 の「Web での個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 3. [新規追加] をクリックします。 4. 必要に応じて、ファースト ダイアル コードを変更します。 5. [検索オプション] 領域を使用して、適切な PAB エントリを検索します。 6. [検索結果] 領域で電話番号をクリックします。 7. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 必要に応じて、ファースト ダイアル コードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 編集するファーストダイヤルエントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルエントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルを検索します。 2. 1つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント


- ファーストダイヤルとPABのエントリは、最大500個まで作成できます。
- 新しいファーストダイヤルエントリは、PABエントリを使用することなく作成できます。新規のファーストダイヤルエントリは、ユーザオプション Web ページで「raw」とラベル表示され、設定可能なテキストラベルは表示されません。






アドレス帳同期化ツールの使用方法

アドレス帳同期化ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳 (適用可能な場合) を PAB と同期化することができます。同期化後、Microsoft Windows アドレス帳に含まれるエントリは、無線 IP Phone およびユーザ オプション Web ページでアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

Web での電話機サービスの設定



電話機サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場や映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [新規追加] をクリックします。 4. ドロップダウン リストからサービスを選択して、[次へ] をクリックします。 5. サービス ラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) ラベルが 11 字より多い場合、名前を短くしてください。ラベルは左側から省略されます。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更して、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
使用可能なスクリーン スロットにサービスを 追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。  <hr/> (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。<hr/> 3. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 4. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。  <hr/> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。<hr/> 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックして、電話機をリセットします (新しいラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスに アクセスする	<p>◀  > (サービス名) を選択します。</p> <p> (注) 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合せください。</p> <hr/> <p> (注) 設定されているサービスが1つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開かれます。設定されているサービスが複数の場合、電話スクリーンのメニューからサービスを選択します。</p>

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。PIN とパスワードは、さまざまな機能やサービスにアクセスするために使用します。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 [ブラウザのパスワード] 領域に情報を入力します。  <p>(注) <u>パスワードは、5 ~ 127 字で指定してください。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 [電話の PIN] 領域に情報を入力します。  <p>(注) <u>PIN は、5 ~ 20 字で指定してください。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> [保存] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 [ユーザロケール] 領域で、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> [ユーザオプション] > [デバイス] を選択して、[デバイス設定] ページに移動します。 [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 [保存] をクリックします。

ヒント


- PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。
- パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。
- これらのサービスの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。


Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送や回線ラベルなどが含まれます。



- (注)
- (プライマリ電話回線の)コール転送を、電話機で直接設定できます。P.49の「別の電話番号へのコールの転送」を参照してください。
 - 電話機で直接アクセスできる電話機の設定については、P.80の「電話機の設定の変更」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。2. [回線の設定] をクリックします。3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。4. [着信コールの転送] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。5. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイスメッセージインジケータ設定を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [回線の設定] をクリックします。3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。4. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p> (注) 通常は、デフォルトのメッセージ受信設定によって、電話機で新規ボイスメッセージを知らせるライトおよびメッセージが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none">5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [回線のテキストラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>(注) ラベルが 11 字より多い場合、名前を短くしてください。ラベルは左側から省略されます。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。

ヒント


ユーザ オプション Web ページから電話機の呼出音設定を変更することはできません。

Cisco WebDialer の使用

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザ内の項目をクリックして、無線 IP Phone からディレクトリの連絡先にコールを発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ユーザ オプションディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.105 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ディレクトリ] を選択して、同僚を検索します。 3. ダイアルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします (詳細については、この表の最後の項目を参照)。 5. コールの開始ページが表示される場合は、[ダイアル] をクリックします (今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照)。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話を置きます。

目的	必要な操作または状態の説明
別のオンライン社内ディレクトリ（自分のユーザオプションディレクトリではない）で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示される場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話を置きます。
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。

目的	必要な操作または状態の説明
<p>WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する</p>	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます (ダイヤルする番号をクリックした後)。</p> <p>後で [初期設定] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コール発信に使用する無線 IP Phone および電話番号 (回線) を指定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します 電話機でホスト名を表示するには、▼  [設定] > [ネットワーク プロファイル] > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します。 • [エクステンションモビリティを使用する]: 選択した場合、エクステンション モビリティ プロファイル (使用可能な場合) と関連付けられた無線 IP Phone を使用するように WebDialer にプロンプトが表示されます。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なソフトキーのテンプレートを
使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。
コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談する
ときに役立ちます。



(注) この表に記載されているユーザガイドとその他のマニュアルについては、次の URL から入手
できます。 http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話機が呼び出し中または使用中のときに別のソフトキー ([即転送] など) を表示する必要がある	新しいソフトキー テンプレートを設定してユーザの電話機に割り当てるようシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル番号が足りない	現在使用可能な短縮ダイヤル番号をすべて使用していることを確認してください。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。	P.102 の「 ユーザ オプション Web ページへのアクセス 」を参照してください。


目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1 つの電話番号を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば 1 つの番号をデスクの電話機と無線 IP Phone で使用することができます。	P.66 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コール ピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示またはそれに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の電話機に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 不審なコールのトレース (P.72) • 共有回線の使用 (P.66) • Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.74)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.79 の「自動応答の使用」を参照してください。
電話機の短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプフィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	P.69 の「BLFの使用による回線状態の確認」を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.74 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。
同じ共有回線を持つすべての電話機で、共有回線でのコール情報の表示やコールの参加を許可または禁止する	電話機のプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.68 の「他者による共有回線のコールの表示および参加の防止」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の無線 IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。




症状	説明
コールを完了できない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none">電話機が無線ネットワーク アクセス ポイントのサービス エリア外にあります。 <p> (注) 電話機を持って歩いているとき、電話機が無線サービスの範囲内にあることは、点滅する緑色のライトで示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力してから番号をダイヤルする必要があります。電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。

症状	説明
メインの電話スクリーンがアクティブにならない	<p>次のメッセージのいずれかがステータス行に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク ビジー：無線ネットワーク内に、このコールを完了するために必要な使用可能な帯域幅が十分にありません。あとで再試行してください。 • サービス圏外に接近中：電話機は、関連するアクセス ポイントと無線ネットワークの範囲外にあります。 • ネットワークサービスの検索中：電話機が無線ネットワーク アクセス ポイントを検索しています。 • 認証に失敗しました：認証サーバがセキュリティ クレデンシャルを受け入れませんでした。 • IP を設定中：電話機は、DHCP が IP アドレスを割り当てるのを待っています。
設定メニューが反応しない	システム管理者が、電話機の設定機能を無効にした可能性があります。
[参加] に失敗する	[参加] を実行するには、複数のコールを選択する必要があります。アクティブ コールは自動的に選択されるので、それ以外に、少なくとも1つのコールが選択されていることを確認してください。また [参加] を実行するには、選択されたコールがすべて同じ回線上にある必要があります。必要に応じて、[参加] を実行する前にコールを1本の回線上に転送してください。
使用したいソフトキーが表示されない	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オプション] を押して、その他のソフトキーへスクロールして表示する必要があります。 • 回線状態を変更する必要があります(たとえば、電話をかけるか、コールを接続するなど)。 • 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。
[割り込み] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。 • 別の Cisco Unified Wireless IP Phone のコールには割り込みできません。

症状	説明
[割込み] を使用して参加したコールが切断される	[割込み] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。
[折返し] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。
不在転送を設定しようとすると、電話機にエラーメッセージが表示される	不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップ カウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ネットワークまたは無線ネットワーク設定データにアクセスする	 > [デバイス情報] > [ネットワーク] または [WLAN] を選択し、表示する構成項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[オプション] > [品質] を押すと、情報をシステム管理者に送信できます。設定に応じて、次のように QRT を使用します。

- 現在のコールの音声の問題をすぐにレポートする
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択し、理由コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html

Index

B

BLF ピックアップ 70

C

Cisco Unified IP Phone

～の資料 2

Cisco Unified Wireless IP Phone

アクセサリ 18

安全と性能 3

医療環境 7

規制国 6

クリーニング 35

接続 9

電源 6

電源をオン 15

登録 17

トラブルシューティング 120

～のオンライン ヘルプ 30

～の機能の設定 34, 118

～の説明 21

ボタンとキー 22

～用 Web ベースのサービス 102

Cisco WebDialer 115, 116

C 割込

使用方法 67

「割り込み」も参照

L

LED 点滅率 23

M

Malicious Call Identification (MCID) 72

MLPP、使用 73

Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 73

P

PAB

Web ページでの使用 108

～からダイヤル 40

PIN、変更 113

push to talk

アクセス 75

使用方法 75

ボタン 75

Q

Quality Reporting Tool (QRT)、使用 122

T

TABSynch 110

TAPS、使用 17
Tool for Auto-Registered Phones Support 17

W

WebDialer 116

あ

アイコン 59
 回線状態 33
 コール状態 33
 信号の強度 15
 ~の説明 26
アイコン、コールの状態を示す 32
アクセシビリティ 8
アドホック会議、「会議コール」を参照
アプリケーション ボタン 25
暗号化されたコール 71
安全と性能 3
安全なコール 71

い

医療環境 7
インジケータ ライト
 色 23
 サービス中 15
 点滅している緑 15
 点滅率 23
インターコム回線 59

え

エクステンション モビリティ
 使用方法 41
 ログアウト 74
 ログイン 74

お

応答 / 発信ボタン 25
折返し 40
音声品質データ、~へのアクセス 122
オンライン ヘルプ、使用 30
音量
 維持 77
 コール中に調整 77
 調節 80, 82
音量ボタン
 使用方法 31
 説明 25

か

会議コール
 アドホック 52
 標準 52
 ミーティング 52, 55
回線
 アクセス 32
 回線表示アイコン 32
 コール状態アイコン 33
 ~とコール転送 114
 ~の説明 32
 ~のテキストラベル 114

- 表示 32
- ボイスメッセージインジケータ設定 114
- 回線設定、Communications Manager の Web ページでの制御 114
- 回線表示短縮ダイヤル 61
- 課金コード、~を使用してダイヤル 41

- き
- キーパッドロック
 - キーパッドのロック解除 31, 87
 - 自動キーロック機能 87
 - 自動キーロックの設定 87
 - ロック
 - キーパッド 31
- キーパッドのショートカット 30
- キーロック 31
- 規制国 6
- 機能
 - アクセシビリティ 8
 - ~のアベイラビリティ 34
 - ~の追加 118
- 機能ボタン、使用 29
- 機能メニュー 29
- 共有回線
 - ~の説明 66
 - プライバシーの使用 68
 - リモートで使用中のメッセージ 66
 - 割り込みの使用 67
- 切り替え、コールの 46

- け
- 警告 3

- こ
- コール
 - 安全な 71
 - 応答 42
 - 回線との違い 32
 - サイレントの使用 50
 - 終了 43
 - 選択 32
 - 転送 47, 49, 114
 - ~のアイコン 32
 - ~の会議機能 52
 - ~の複数の通話相手 52
 - パーク 64
 - 発信 36, 39
 - ピックアップ 63
 - 複数の処理 46
 - ブロック 50
 - 保存と取得 64
 - 保留と復帰 44
 - ミュート 45
 - 優先順位付け 73
 - 呼び出し中のリダイレクト 42
- コール待機 42
- コールパーク 64
- コールピックアップ 63
- コール処理、応用的な 60
- コール処理、基本的な 36
- コール転送 49
 - Communications Manager Web ページでの設定 114
- コールへの応答 42
- 個人アドレス帳、「PAB」を参照
- 固定短縮ダイヤル 107

さ

サービス、～への登録	111
サイレント	50

し

自動応答、使用	79
自動キーロック	87
社内ディレクトリ	
Communications Manager Web ページからの使用	115
使用方法	92
終了、コールの、～のオプション	43
資料、アクセス	2
信号の強度	15

す

ステータス データ、～へのアクセス	122
ステータス行、表示	27
スピーカ アイコン	76
スピーカ ボタン	23
スピーカフォン	
モード、使用	76

せ

セキュリティ	
安全なコールの送受信	71
～のレベル	71
ノンセキュア コールの確認	71
切断、～のオプション	43
選択、コールの	32

選択ボタン

使用方法	30
説明	24

そ

ソフトキー ボタン

使用方法	27
～のラベル	27

た

ダイヤル、～のオプション	36, 39
--------------	--------

短縮ダイヤル

Web からの設定	107
オプション	60
回線表示	61
回線表示ラベル	107
電話帳の連絡先への割り当て	99
ファースト ダイヤルの使用	62
ホットキー	60
ホットキーを使用したコールの発信	39
短縮ダイヤル ホットキー	60
短縮ダイヤル ホットキーの使用	39

ち

着信履歴、～のレコード	90
-------------	----

て

停電	6
----	---

- ディレクトリ
 - Communications Manager Web ページからの使用 116
 - オプションの説明 92
 - 社内、使用 92, 93
- テキスト
 - 特殊文字 17, 24, 25
 - 入力 17
 - 編集 17
- テキストの入力 17
- テキストの編集 17
- デスクトップチャージャー
 - ～から電話機を取り外す 77
 - ケーブルロック 19
 - 使用方法 77
 - 接続済みアイコン 77
- デスクトップチャージャーのケーブルロック 19
- 電源 6
- 電源 / 終了ボタン 24
- 電源をオン 15
- 転送、コールの、～のオプション 49
- 転送、～のオプション 47
- 電話回線
 - ～の説明 32
 - 表示 26
- 電話機
 - スピーカモード 76
 - ハンドセットモード 76
 - ロックセット 19
- 電話機サービス
 - 設定 106
- 電話機のアクセサリ 18
- 電話機のボタン
 - 説明 22
- 電話スクリーン
 - LED 表示の変更 84
 - アイコン 26
 - アクティブコール 32
 - ディスプレイの明るさの変更 84
 - 画面のタイムアウトの変更 84
 - 機能の説明 26
 - クリーニング 35
 - 言語の変更 84
 - ～の機能 26
 - メニュー 29
- 電話ステータス行アイコン 26
- 電話帳、使用 96
- 電話番号、表示 26
- 電話履歴
 - 表示とダイヤル 90
 - メニュー オプション 90
- と
- 登録、電話機サービスの 111
- 特殊文字、アクセス 17, 24, 25
- トラブルシューティング、～用のデータ 120
- 取り付け、Cisco Unified Wireless IP Phone 9
- な
- ナビゲーション ボタン 24, 29
- に
- 認証されたコール 71

ね

- ネットワーク プロファイル
 - 表示 89
 - ロック 89
- ネットワーク構成データ、～へのアクセス 122

は

- バイブレーション モード
 - アイコン 31
 - 設定 31
- パスワード
 - EAP の変更 89
 - 設定 16
 - ネットワーク EAP 16
- パスワード、変更 113
- 発信、コールの、～のオプション 36, 39
- 発信履歴、～のレコード 90
- バッテリー
 - 安全上の注意事項 4
 - 取り付け 10
 - 取り外し 10
- ハントグループ、ログアウト 65
- ハンドセット
 - 使用方法 76

ひ

- 左ソフトキーの設定 84
- ピックアップグループ 63

ふ

- 複数のコール、処理 46
- 不在履歴、～のレコード 90
- 不審なコール、トレース 72
- 復帰、使用 44
- プライバシー
 - 使用方法 68
 - ～と共有回線 66

へ

- ヘッドセット
 - 外部デバイスの使用 7
 - 使用方法 18, 76
 - 数量 18
 - 注文方法 19
 - ポート 23
 - モード、使用 76
 - 有線 76, 78
 - 呼出音の音量の選択 80, 82
- ヘッドセットの仕様 78
- ヘルプ
 - アクセス 30
 - 使用方法 30
 - 内容 30

ほ

- ボイス メッセージ
 - アクセス 100
 - インジケータ 100
 - ショートカット 31

- ボイス メッセージのインジケータ
 - 設定の変更 114
- ホーム スクリーンの表示 28
- 保障
 - 規定の説明 123
 - ハードウェア 123
- ボタン
 - アプリケーション 25
 - 応答 / 発信 25
 - 音量 25
 - ショートカット 30
 - スピーカ 23, 76
 - 選択 24
 - 電源 / 終了 24
 - ナビゲーション 24, 29
 - 左ソフトキー 25
 - 右ソフトキー 23
 - ミュート 25
- 保留
 - 使用方法 44
 - ~とコールの切り替え 46
 - ~と転送 47
- み
- ミーティング会議 52, 55
- ミュート、使用 45
- ミュート ボタン 25
- む
- 無線ネットワーク データ、~へのアクセス 122
- め
- メニュー
 - 項目へのアクセス 29
 - メイン メニューへのアクセス 29
- メニュー、使用方法 29
- ゆ
- ユーザ オプション Web ページ
 - Cisco Unified CallManager
 - IP Phone サービスへの登録 103
 - アクセスと使用 102
 - Cisco Unified Communications Manager
 - アクセスと使用 105
 - ~での電話機サービスの登録 111
 - Communications Manager
 - アドレス帳同期ツール 110
 - デバイス設定ページ 105
 - PIN、変更 113
 - 回線表示短縮ダイヤル、設定 107
 - 機能およびサービスの設定 106
 - 言語（ロケール）設定 113
 - パーソナル ディレクトリ、Web ページからの使用 108
 - パスワード、変更 113
 - ファースト ダイヤル、Web ページからの設定 109
- 優先順位付け、コールの 73
- 有線ヘッドセット
 - アイコン 76
 - 使用方法 76
 - ポート 76

よ

呼出音

音量 80, 82

呼出音パターン

音量ボタンで変更 31

設定の変更 81

呼び出しトーン

回線ごとに選択 80, 82

変更 80, 82

わ

割り込み

使用方法 67

~と共有回線 66

~とプライバシー 68

り

リダイヤル 36

リモートで使用中、共有回線の 66

履歴

削除 90

表示とダイヤル 90

れ

連絡先

短縮ダイヤルの割り当て 99

電話帳の 96

~の検索 97

ろ

ログアウト、ハントグループから 65

ロック

電話機 19

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0805R)



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

Copyright © 2008, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社 .
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00